

平成 30 年度

# 事 業 報 告

自：平成 30 年 4 月 1 日

至：平成 31 年 3 月 31 日

社会福祉法人愛隣園

# 平成 30 年度 社会福祉法人愛隣園 事業報告書

## 1. 法人の基本理念

「自分を愛するようにあなたの隣人を愛せよ」

聖書 ルカによる福音書第 10 章 27 節

## 2. 総 括

本年度は、愛隣こども園、ガリラヤ荘、ガリラヤ久米の 3 事業所ともに利用状況、収益状況は順調に推移した年であった。

このような状況の中で、愛隣こども園では、地域子育て支援事業の実施により地域で子育てを支える拠点として重要な役割を果たすとともに、ガリラヤ荘にあつては、多職種協働によるトータルケアの推進やノーリフティングケアの実践などにも取り組み、サービスの質の向上に努めたところである。また、開設 2 年目を迎えたガリラヤ久米にあつては、基盤づくりの年と位置づけ、職員一丸となって様々な取り組みを推し進め、一応所期の目標は達成したものと考えている。

しかしながら、このような状況の中にあつて、いくつかの課題が浮き彫りになってきた年でもあつた。

まず第一点は、ガリラヤ久米が平成 29 年度にオープンし、職員や事業が増え、内部の経営環境が大きく変わったことによって、非効率的な面や様々な歪が顕在化してきたことである。

このため、「施設ごとにうまく運営できていればよい」という従来の施設中心の考え方から法人全体の視点に基づく経営へと大きく舵を切ることとなり、新たに本部に本部事務局長を配置するとともに法人経営の要となる法人本部事務局体制の整備に着手したところである。次年度は、正式に本部事務局を設置し、経営戦略、人事労務、会計を一元的に処理する体制の構築に向けた取り組みを推進したい。

次に第二点は、厳しさを増してきている人材確保の問題である。現在のところ、ハローワークをはじめ求人サイト、時には人材紹介などを活用した求人活動を行う一方、大学や専門学校等との連携などによりかろうじて人材の確保はできているが、その実態はそう楽観視できるものではない。

次年度は、外国人労働者など多様な人材の確保はもとより、働きたいと思えるような魅力ある職場づくりにも積極的に取り組んでいきたい。

なお、本年度の決算状況を見ると、資金繰りの面では、事業活動資金収支差額率が法人全体で 12.8% (2017 年度介護事業の平均が 3.3%) となっており、一見余裕があるかのように

思えるが、今後の借入金の返済やガリラヤ荘の修繕等を考えるとさらなる経営基盤の強化が必要である。

そのほか当法人はまだまだ解決すべき課題を数多く抱えているのが実態であり、今後はそれぞれの課題を職員それぞれが知恵を出し合いながら一つずつ確実に解決していかなければならないと考えている。

### 3. 事業の概要

事業所名	施設長	所在地	定員
愛隣子ども園	羽 藤 美知子	松山市三津三丁目6番30号	66名
ガリラヤ荘	丹 紀 代	東温市南方1766-1	特養80名、ショート20名、デイ35名他
ガリラヤ久米	高 橋 雅 志	松山市久米窪田町667-1	特養29名、ショート10名、GH18名 有料35名、デイ15名他

### 4. 理事会・評議員会等開催状況

月 日	事業名	内 容	参加人数	備 考
6月5日	監事監査	法人及び施設会計の決算監査	監事2名 (欠席0名)	愛隣子ども園 ガリラヤ荘
6月12日	理事会	2018年度(平成30年度)第1回理事会開催 1. 平成29年度事業報告について 2. 平成29年度計算書類(決算報告)について 3. 監査報告について 4. 主たる事務所の変更について 5. 定款の変更について 6. ガリラヤ久米駐車場用地の整備について 7. 平成30年度定時評議員会の日程及び議案について 8. 諸規程の改正について 9. 報告事項、その他	理事6名 (欠席0名) 監事2名 (欠席0名)	ガリラヤ久米
6月26日	評議員会	2018年度(平成30年度)定時評議員会開催 1. 平成29年度計算書類(決算報告)の承認について 2. 主たる事務所等の変更について 3. 定款の変更について 4. 報告事項、その他	評議員7名 (欠席0名) 事務局 理事6名 監事2名	東京第一ホテル松山

12月3日	理事会	2018年度(平成30年度)第2回理事会開催 1. 平成30年度第1次補正予算(案)について 2. デイサービスガリラヤ久米の定員増について 3. 平成30年度第2回評議員会の日程及び議案について 4. 就業規則(準職員)の改正について(ガリラヤ(高齢者部門)) 5. 報告事項、その他	理事6名 (欠席0名) 監事2名 (欠席0名)	ガリラヤ久米
12月13日	評議員会	2018年度(平成30年度)第2回評議員会開催 1. 平成30年度第1次補正予算(案)について 2. 報告事項、その他	評議員6名 (欠席1名) 事務局 理事6名 (欠席1名) 監事2名 (欠席0名)	ガリラヤ久米
3月20日	理事会	2018年度(平成30年度)第3回理事会開催 1. 平成30年度第2次補正予算(案)について 2. 平成31年度理事長報酬(案)について 3. 浄化槽ろ過装置の設置について 4. 平成31年度事業計画(案)について 5. 平成31年度当初予算(案)について 6. 本部事務局の設置について 7. 諸規程の形成について 8. 定年延長及び再雇用に関する内規について 9. 平成30年度第2回評議員会の日程及び議案について	理事6名 (欠席0名) 監事2名 (欠席0名)	ガリラヤ久米
3月29日	評議員会	2018年度(平成30年度)第3回評議員会開催 1. 平成30年度第2次補正予算(案)について 2. 平成31年度理事長報酬(案)について 3. 平成31年度事業計画(案)について 4. 平成31年度当初予算(案)について 5. 報告事項、その他	評議員7名 (欠席0名) 事務局 理事5名 監事2名	ガリラヤ久米

## 5. その他の会議

本年度、新たに次の会議を設置し、本部事務局設置に向けた検討を重ねるとともに、法人全体の抱える各種課題について協議を行ったところである。

### (1) 法人本部打合せ会

○メンバー 5名(理事長、ガリラヤ荘及びガリラヤ久米施設長、本部事務局長、事務部長)

○開催 3回

第1回 平成30年4月16日(月)

・法人本部事務局の必要性について

第2回 平成30年4月27日(金)

・法人本部事務局の設置場所について

第3回 平成30年5月10日(木)

・法人本部事務局の業務について

・法人本部事務局の組織体制について

### (2) 経営会議

「法人本部打合せ会」に新たなメンバーを加えて名称を経営会議に改めた。

○メンバー 8名(理事長他理事全員、本部事務局長、砂子法人室長)

○開催 4回

- 第1回 平成30年11月1日(火)  
・法人が目指す経営方針について
- 第2回 平成30年11月15日(木)  
・本部事務局設置の方向性について  
・本部事務局体制の骨格について  
・平成30年度補正予算について
- 第3回 平成31年1月10日(木)  
・本部事務局の業務分担について  
・外国人労働者の受け入れについて
- 第4回 平成31年3月11日(月)  
・31年度事業計画及び当初予算について  
・本部事務局の設置について  
・諸規定の改正について  
・定年延長及び再雇用に関する内規について

(3) 事務局会議

- メンバー 8名(事務局長、事務部長等法人内事務職員)  
○開催 1回

- 第1回 平成30年2月6日(水)  
・事務局設置について  
・事務職員アンケート調査について

6. 指導監査の状況

- 愛隣こども園 平成30年8月7日(火) 松山市  
○ガリラヤ荘(特養) 平成30年9月4日(火) 愛媛県  
○〃(ショート) 平成30年10月9日(火) 愛媛県  
○ガリラヤ久米(有料) 平成30年8月29日(水) 松山市

7. 事業収支及び資産の状況

(1) 収支の推移

単位：千円

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
事業活動収入	683,062	993,369	1,136,585
事業活動支出	597,622	945,847	991,479
事業活動資金収支差額	85,441	47,521	145,106
施設整備等収入	683,289	1,253,021	15,018
施設整備等支出	869,178	1,162,165	46,059
施設整備等資金収支差額	△185,889	90,856	△31,041
その他の活動収入	15,278	21,495	17,953
その他の活動支出	27,360	29,008	45,347
その他の活動資金収支差額	△12,083	△7,514	△27,394
当期資金収支差額	△112,531	130,864	86,672
前期末支払資金残高	453,760	341,229	472,093
当期末支払資金残高	341,229	472,093	558,764

## (2) 資産・負債の状況

単位：千円

区 分	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度
流動資産	367,233	526,576	616,053
固定資産	1,906,464	2,414,995	2,342,018
資産合計	2,273,698	2,941,571	2,958,072
流動負債	593,463	154,604	171,764
固定負債	838,088	1,876,381	1,839,598
負債合計	1,431,553	2,030,985	2,011,362
純資産	842,145	910,586	946,710

## (3) 法人借入金状況

単位：千円

事業所	借入先	利率	期首残高	当期借入額	当期償還額	期末残高
愛隣こども園	福祉医療機構	0.75	140,000	0	2,400	137,600
	伊予銀行	0.65	32,050	0	1,140	30,910
	小 計		172,050	0	3,540	168,510
ガリラヤ荘	福祉医療機構	1.80	57,860	0	5,260	52,600
	伊予銀行	0.40	513,992	0	24,768	489,224
	愛媛銀行	1.00	73,670	0	3,540	70,130
	小 計		645,522	0	33,568	611,954
ガリラヤ久米	福祉医療機構	0.95	466,000	0	0	466,000
	愛媛銀行	0.45	600,000	0	0	600,000
	小 計		1,066,000	0	0	1,066,000
合 計		1,883,572	0	37,108	1,846,464	

## 8. 職員配置状況

平成 31 年 3 月 31 日現在

区 分/事業所	愛隣こども園	ガリラヤ荘	ガリラヤ久米	計
正規職員	16 名	72 名	56 名	144 名
準 職 員	1 名	50 名	19 名	69 名
臨時/パート職員	9 名	1 名	1 名	9 名
合 計	25 名	122 名	75 名	222 名

※離職率（1年間の退職者数を30年4月1日の在籍者数で割ったもの）

- ・愛隣こども園 当初 23 名 退職者 2 名 8.6%
- ・ガリラヤ荘 当初 124 名 退職者 12 名 9.6%
- ・ガリラヤ久米 当初 73 名 退職者 17 名 23.0%
- ・法人全体 当初 220 名 退職者 31 名 14.1%

## 9. 利用者の状況

施設・事業名	定 員	年間延べ 利用者数	1日平均 利用者数
愛隣こども園	66	945	78.75
ガリラヤ荘	特養入所	80	28,657
	短期入所（ショートステイ）	20	6,386
	通所介護（デイサービス）	35	8,533
ガリラヤ久米	特養入所	29	10,155
	短期入所（ショートステイ）	10	2,824
	通所介護（デイサービス）	15	3,536
	グループホーム	18	6,397
	介護付有料老人ホーム	35	10,948



## 1. 保育・教育の目的

キリスト教主義の保育・教育理念、方針、目標に基づき、松山市より委託された乳幼児を下記の法において保育・教育をおこなった。

記:児童福祉法第39条を目的とし、児童福祉施設最低基準  
第5章第32条より第36条を遵守した。

理念 多くの賜物を与えられて誕生した子どもたちを、ひとりひとり大切にみつめつつ保育及び教育することで他者と共いきることのできる子どもに育てる。

「自分を愛するように あなたの隣人を愛しなさい」(聖書のことばから)

方針 1「地域の人々と共に」 過疎化が進み高齢者が多くなりました。地域の人々と共に交流し、保護者の家庭を含めて共生する使命があります。

2「基本的生活習慣を身につけ養う」 他者と心をつなぐ道です。それは他者の人格を尊び、人権を大切にすることを育てることであります。

目標 1. 基本的生活習慣を身につけよう。  
2. 他者とともに生きる子どもになろう。  
3. 自分を豊かに表現できる子どもになろう。  
4. 主体的に活動できる子どもになろう。

## 2. 振り返り

- (1) 幼保連携型認定こども園へ移行し、2年目を迎え2018年度は、1号認定の利用者も確保することができた。これは、一時預かり事業や地域子育て支援拠点事業が丁寧に保育したり、地域の子育て世代の方への働きかけの成果だと感じる。2号、3号の従来の保育園卒の利用者も安定しており当園を希望してくださる方も増えている。園舎も新しく環境もゆったりしていること、また保育教諭の雰囲気も感じが良いと見学時に言ってもらうことが多く、喜ばしいことであると同時にこのことも子どもが減少している地域での園児の確保につながっていると思われる。
- (2) 年齢別保育を大切にしながらも異年齢児との交流も積極的に取り入れた。家庭的な雰囲気の中で保育ができたと思う。また、全職員が全園児のことを把握し、関わるということを大事にしているが、すべての職員がそれを理解し取り組むということは難しく、その人の持っている力の差を感じ課題である。
- (3) 4月当初に2名の保育教諭を採用し、ゆとりを持って新年度を迎えたが、0・1歳児クラスがなかなか安定しなかった。一つの要因としては、途中入園児が0・1歳児クラスに多く入ったということである。また、0・1歳児クラスの保育者のチームワークがベストでなかったということがあげられる。2019年度は、そのことを踏まえて職員の配置を考えた。
- (4) 地域のイベントにも少しづつ声がかかり、交流の場が増えている。

## 3. 児童数 (別記1)

定員 66名 (内1号認定 6名) 現数 82名

(0歳児 8名、1～2歳児 30名、3歳児 18名、4歳以上児 26名)

## 4. 職員数 (別記2)

園長 1名、保育教諭等 20名(内1名事務兼務)、調理員 3名、事務 1名

## 5. 保育・教育活動 (別記3)

## 6. 特別事業の実施状況 (別記4)

- ① 一時預かり事業
- ② 延長保育事業
- ③ 地域子育て支援拠点事業
- ④ 障害児保育事業

## 7. その他 (別記5)

- ① 食育・アレルギー食について
- ② 感染症・ケガ等について
- ③ 苦情及び苦情解決について
- ④ 研修参加状況について



## (別記1) 児童数

2019年3月31日現在

月	0歳児		1歳児		2歳児		3歳児		4歳児		5歳児		合計		総合計	備 考
	3号	3号	3・2号	2号	1号	2号	1号	2号	1号	2号	1号	3・2号	1号			
4月	4	12	16	13	5	13	0	13	0	71	5	76				
5月	5	12	16	13	5	13	0	13	0	72	5	77	0歳児1名 入園			
6月	5	11	16	13	5	13	0	13	0	71	5	76	1歳児1名 退園			
7月	5	13	16	13	5	13	0	13	0	73	5	78	1歳児2名 入園			
8月	5	13	16	14	4	12	1	13	0	73	5	78				
9月	5	13	16	14	4	12	1	13	0	73	5	78				
10月	5	13	16	14	4	12	1	13	0	73	5	78				
11月	6	13	16	14	4	12	1	13	0	74	5	79	0歳児1名 入園			
12月	7	13	16	14	4	12	1	13	0	75	5	80	0歳児1名 入園			
1月	7	14	16	14	4	12	1	13	0	76	5	81	1歳児1名 入園			
2月	8	14	16	14	4	12	1	13	0	77	5	82	0歳児1名 入園			
3月	8	14	16	14	4	12	1	13	0	77	5	82				
計	70	155	192	164	52	148	8	156	0	885	60	945				

## (別記2) 職員数

月	園長	保育教諭等			調理員		事務員他		合計			備 考
	正規	正規	非常勤	パート	正規	非常勤	正規	非常勤	正規	非常勤	パート	
4月 ～ 3月	1	20			3		1		25			※保育教諭等 ……1名→事務兼務 1名→保育士資格のみ
		13	5	2	2	1		1	16	7	2	

## (別記3) 行事的保育・教育活動

月 日	曜日	行 事 的 保 育 ・ 教 育 活 動 他
4月3日	火	<b>入園式</b> 保護者同伴。式は三津教会 森分望 牧師の祈りにより始まる。理事長・担当理事・園長のあいさつ、各組担任による園児の紹介、子どもたちの歌、職員の人形劇で終え、各クラスでの集まり、おやつを食して11:30分降園する。 午後から保育の必要な園児は、対応する。保護者会(役員選出・年間計画)
4月26日	木	<b>内科検診</b> 医師 井上 哲志氏 15:00~16:30
5月8日	火	<b>歯科検診</b> 医師 道田 満代氏 10:00~12:00
5月12日	土	<b>歓迎遠足</b> 東温市総合公園 9:00~14:00 家族参加者:85名
6月2日	土	<b>保育参観日</b> 全クラス 9:30~12:00 家族参加者:62名
6月4日	月	} 松山東雲大学2年生1名 保育実習
6月16日	土	
6月7日	木	<b>花の日</b> 三津教会で礼拝を守り、子どもたちが、日頃お世話になっている公共施設やご近所に感謝の気持ちとともに花を届ける。
6月9日	土	<b>共立建設 2年点検</b>
7月18日	水	<b>防災紙芝居</b> 10:00~ 女性防火クラブ
7月27日	月	<b>マーチングバンド見学</b> (茨城県大洗高校) 石井北小学校 くま組(5歳児)・きりん組(4歳児)
7月28日	土	<b>興居島海水浴</b> くま組(5歳児13名)、引率者(職員8名、役員・保護者4名)
8月3日	金	<b>西中等教育学校 職場体験 (10名)</b>
8月4日	土	<b>稚魚放流活動</b> (財)日本釣振興会主催 10:00~11:00 くま組(5歳児)
8月7日	火	<b>松山市指導監査</b>
8月8日	水	<b>交通安全教室</b> 10:00~11:00
8月21日	火	} <b>自由保育参観日</b> 9:30~12:00の間自由に参観してもらう。家族参加者:62名
8月22日	水	
9月16日	土	<b>敬老参観日</b> <プログラム> 1. 子どもたちのハンドベル奏・うた 2. 職員の劇、合奏 3. 茶話会 家族・地域等参加者:90名
9月19日	水	<b>なごみの会交流会</b> 子どもたちのハンドベル奏・うたを聴いていただく。 手づくりのおままごと用お布団セットをいただく。

月 日	曜日	行 事 的 保 育・教 育 活 動 他
9月25日 ↓	水	津田中学校2年生職場体験 2名来園
9月28日	木	
10月1日 ↓	月	三津浜中学校2年生職場体験 2名来園
10月2日	火	
10月13日	土	わくわく交流会 住吉公園で地域の方々と交流し、うた・ダンスを披露する。 くま組(5歳児)・きりん組(4歳児)
10月20日	土	運 動 会 大可賀公園で保護者、祖父母、地域の方と行う。 9:00~12:30 家族・地域等参加者:約300名
10月31日	火	アンパンマントロッコ列車遠足 くま組(5歳児)参加…他園と一緒に波方公園へ 他のクラス祓川公園へ
11月5日 ↓	月	聖カタリナ短期大学1年生1名 保育実習
11月16日	金	
11月6日	火	歯科検診 医師 道田 満代氏 10:00~12:00
11月14日	水	魚食普及イベント くま組(5歳児)親子参加
11月15日	木	内科検診 医師 井上 哲志氏 15:00~16:30
11月17日	土	こども園ミニバザー(保護者会主催) 家族・地域等参加者:約120名
11月22日	木	感 謝 祭 三津教会で森分牧師、教会員の方々と一緒に礼拝を守る。 家から持ち寄った果物・野菜をクラスに分かれてご近所や、公共施設に届ける。
11月28日	水	秋の楽しいおもちゃランド(三津浜小学校) 9:45~11:00 くま組(5歳児)参加
12月22日	土	クリスマス祝会 クリスマス礼拝と祝会を保護者やその家族とともに。 10:00~11:30 家族参加者:142名
1月12日	土	もちつき インフルエンザA型の流行により中止。規模を小さくして子どもと職員のみで楽しむ。 (1月17日・23日)
2月7日	木	起震車体験 くま組(5歳児) きりん組(4歳児) うさぎ組(3歳児) 於:西消防署
2月23日	土	お別れ遠足 藤山健康文化公園 9:15~14:15 家族参加者:116名 保護者、祖父母、卒園した小学生にも声をかけ園児との交流を持つ。
3月24日	土	遊戯会、卒園式を合わせて行う 9:15~12:45 家族参加者:167名 新入園児の面接 15:00~16:30

※ 誕生会 … 毎月1回

※ 避難訓練 …毎月1回(総合訓練年2回)

※ 給食弁当… 毎月1回

※ 身体測定… 毎月1回

#### (別記4) 特別事業の実施状況

- ① 一時預かり事業 … 一時的に家庭での保育が困難となった場合や、育児疲れの負担を軽減するため一時的に預かることで、安心して子育てができる環境を整備し、児童福祉の向上を図ることを目的として行う。

一時預かり保育事業延人数（月～金曜日 8:30～17:00）

月	実人数	延人数
4	24	182
5	30	240
6	31	236
7	35	216
8	32	191
9	33	160
10	35	216
11	34	224
12	36	192
1	40	198
2	42	203
3	52	219
2018年度合計	424	2,477
参考2017年度合計	351	2,227

- ② 延長保育事業 … 就労形態の多様化に伴う延長保育の需要に対応するため行う。

延長保育事業延人数（月～金曜日 18:00～19:00 の利用者）

月	未満児	3歳児	4歳以上児	合計
4	23	33	71	127
5	41	31	76	148
6	33	40	71	144
7	28	32	76	136
8	24	11	48	83
9	33	29	69	131
10	36	33	85	154
11	33	10	68	111
12	27	29	69	125
1	9	19	43	71
2	20	14	70	104
3	26	9	81	116
計	333	290	827	1,450
参考 2017年度計	442	282	857	1,681

- ③ 地域子育て支援拠点事業 …… 主に0歳児から3歳児の未就園児とその保護者また、妊娠中の母親に対して、子育て親子の交流等の提供と促進、子育てに関する相談援助等を基本として活動を行う。

1 活動日時 月曜日～金曜日 10:00～15:00

2 活動内容

・地域交流室(センタールーム)

の開放 …… 園内の地域交流室に様々な玩具や、絵本をそろえ自由に遊べるように開放している。

・園庭開放 …… 天気の良い日に、園の広場や屋上を開放している。

・育児講座 …… 月に一回程度、製作や遠足など育児や生活が楽しくなるような内容や保護者の関心のあることを取り入れる。また、外部の講師を招く。

・育児相談 …… 電話、来園等で育児の悩みや不安、困っている事などの相談を受けている。特に、支援センターについての利用の仕方や活動内容について等 情報提供を行うことが多かった。

・絵本の貸出 …… 地域交流室に置いている、絵本や育児・離乳食等の本の貸出を行う。

3 支援センターの利用者人数

〈 育児講座 〉

月日	活動内容	参加者		
		参加組	子ども	保護者
4月24日(火)	フォトフレーム作り	9	10	9
5月22日(火)	おもちゃ製作	10	10	10
6月15日(火)	歯科衛生についての講座	8	9	8
7月19日(木)	おもちゃ製作と水あそび	8	8	8
8月10日(金)	絵具あそびと水あそび	10	17	10
9月20日(木)	運動あそび	7	7	7
10月25日(木)	親子遠足(トロッコ列車)	13	15	13
11月7日(水)	遠足	2	2	2
12月6日(木)	クリスマス製作	11	12	11
1月10日(木)	絵本の読み聞かせ(マズ・トントン)	6	6	6
2月26日(火)	ひなまつり製作	6	6	6
3月26日(火)	お別れ遠足	7	8	7
	計	97	110	97

〈 センタールーム・園庭開放・絵本貸出 〉

月	利用者			絵本貸出
	家庭数	子ども	保護者	
4	45	50	45	0冊
5	57	66	57	0冊
6	57	64	57	21冊
7	84	99	85	6冊
8	83	103	81	2冊
9	72	78	74	3冊
10	103	113	103	1冊
11	76	81	78	5冊
12	69	74	70	0冊
1	62	64	63	0冊
2	67	72	68	6冊
3	74	80	78	0冊
計	849	944	859	44冊

< 園行事 >

月日	行事	活動内容	参加者		
			参加組	子ども	保護者
10月20日(土)	音の広場(運動会)	・未就園児の競技に参加する。	44	44	44
11月17日(土)	こども園バザー	・園内で行われたバザーに参加する。	25	31	32
計			69	75	76

< 給食試食会 >

月日	給食メニュー	参加者		
		参加組	子ども	保護者
4月19日(木)	・ご飯 ・魚のからあげ ・もやしの胡麻和え ・わかめときのこの清汁	8	8	8
5月17日(木)	・ご飯 ・豆腐団子のからあげ ・菜の花和え ・ミニトマト	7	7	7
6月19日(火)	・ご飯 ・筑前煮 ・青菜ときのこのお浸し ・パン	9	10	9
8月28日(火)	・ご飯 ・キーマカレー ・コーンとハムのサラダ ・スイカ	8	8	8
9月28日(金)	・さつまいもご飯 ・メンチカツ ・アスパラとレタスのサラダ ・ミニトマト ・ぶどう	8	8	8
11月28日(水)	・ご飯 ・かき揚げ ・かぶと柿の酢もの ・みかん	7	10	7
1月22日(火)	・ご飯 ・鶏肉のマーマレード煮 ・揚げ入り白和え ・いちご	5	5	5
2月19日(火)	・ご飯 ・いわしのかば焼き ・キャベツの酢もの ・みかん	7	7	7
計		59	63	59

4 相談件数

月	相談件数				相談内容
	発達・発育	育児不安	情報提供	その他	
4	0	2	9	0	・一時預かりについて(2件) ・支援センターについて(3件) ・当園の見学希望(2件) ・入園について ・睡眠について ・慣れない場所で泣いてしまうことについて ・食事について
5	2	0	2	0	・一時預かりについて ・支援センターについて ・トイレトレーニングについて ・言葉の遅れについて ・食事について
6	1	1	9	0	・一時預かりについて(3件) ・当園の見学希望(4件) ・入園について ・指吸について ・友だちとの関わりについて ・発達検査について
7	0	0	7	0	・一時預かりについて(2件) ・支援センターについて(2件) ・当園の見学希望(3件)
8	0	0	11	0	・一時預かりについて(7件) ・当園の見学希望(2件)
9	0	0	15	0	・一時預かりについて(4件) ・当園の見学希望(6件) ・入園について ・支援センターについて(4件) ・入園について
10	0	0	7	0	・一時預かりについて(2件) ・当園の見学希望 (5件)
11	0	1	10	0	・一時預かりについて(4件) ・当園の見学希望(3件) ・支援センターについて(3件) ・トイレトレーニングについて
12	1	0	3	0	・一時預かりについて(2件) ・当園の見学希望 ・言葉について
1	1	0	0	5	・一時預かりについて(5件)
2	0	2	2	0	・一時預かりについて ・食事について ・友だちとの関わりについて ・支援センターについて
3	0	0	2	0	・一時預かりについて(2件)
合計	5	6	77	5	計 93件

④ 障害児保育事業 … 障害児の保育を推進し、障害児に対する適切な処遇の確保を図る。

対象児： 5歳児 1名 4歳児 4名 1歳児 1名 計6名

(松山市障害児等療育支援事業利用について)

1 実施した支援等の内容

施設支援一般指導事業

- ・成長や発達がゆるやかな子、配慮が必要な子、病気や障がいがある子への関わり方や療育等の相談
- ・聴覚障害児地域支援サービス
- ・配慮が必要な子に対して、また、クラス全体に対して、クラス運営の仕方についての相談
- ・保護者への伝え方や支援について相談する。

2 利用施設

- ・社会福祉法人 福角会 くるみ園
- ・愛媛県視聴覚福祉センター
- ・愛媛県立子ども療育センター
- ・八坂小学校内 たんぽぽ教室

3 施設支援実施内容

回	月日	実施内容	利用施設
1	5月9日	4, 5歳児クラスの英語に親しんでいる様子を見てもらう。集団での働きかけ方、クラスや園で意識すること等アドバイスをいただく。また、新年度の園全体の様子を見てもらう。	くるみ園
2	6月28日	4, 5歳児クラスの活動を見てもらう。また、活動の改善点や個別の関わり方のアドバイスをいただく。(5歳児)	くるみ園
3	7月4日	対象児の園での様子を見に来られる。現状を伝えたり、センターでの様子、見解を聞く。	愛媛県視聴覚福祉センター
4	10月5日	2, 3歳児クラスの気になる子どもの様子を見てもらい、支援の方法や個々への働きかけ方を知る。また、運動会の取り組みの様子を見てもらう。	くるみ園
5	12月5日	引き続き2, 3歳児クラスの様子を見てもらう。前回の様子を参考に現在の様子から働きかけ方、支援の方法のアドバイスをいただく。	くるみ園

※2018年度は、各クラスの活動をみてもらい、その中での保育教諭等の働きかけ方や個々に応じた支援方法を細かく知ることができた。ただ、くるみ園の諸事情で回数が制限されたことは残念だった。

外部研修では、くるみ園の当園担当の職員の研修に参加し、気になる子どもへの支援、関わり方など学び、理解することができた。配慮や支援についても実態に即した方法も紹介されて分かりやすかった。

聴覚障害児については、次年度保護者の勤務時間の関係から、夜間保育所に転園することが決まり、細かく丁寧に引継ぐことを心がけ、また、聴覚センターの担当にもその旨を伝える。

教育相談(松山市教育委員会)の利用について

年長児4名 松山市教育相談会に申請する。(第1・2回…2名、第3・4回…2名)

- ・保護者の意向を聞きつつも園生活の様子を伝え、子どもたちにとってより良い小学校生活を送れるよう話し合う。
- ・教育相談では小学校への移行がスムーズにできるよう、保護者、園長、特別支援教育担当教職員と話をする。また、発達検査等の実施をする。
- ・入学を希望する小学校の学年主任、予定される担当職員と引き継ぎを丁寧にを行う。(こども園にて)

※通級を利用…3名 通常クラスで様子を見る…1名

(別記5) その他

① 食育活動・アレルギー食について

※食育の取り組み

- ・年齢別に年間食育計画を立て、園児の健やかな食習慣を培うようにした。
- ・プランターに野菜の苗を植えるが、例年に比べると収穫が少なく活用も充分にできなかった。

月	活 動 内 容
5月	空豆の皮むき いちごの収穫 各クラスで野菜の苗を購入。苗植えをし、お世話をする。 くま組(5歳児)…きゅうり・トマト きりん組(4歳児)…きゅうり・ミニトマト・なすび うさぎ組(3歳児)…きゅうり・トマト りす組(2歳児)…きゅうり・トマト ひよこ組(0~1歳児)…トマト・きゅうり ぱんだ組(一時預かり)…ミニトマト・ピーマン 芋の苗付け・スイカ
6月	とうもろこしの皮むき
7・8月	野菜の収穫 かき氷 すいかわり
11月	たこ焼き大会 さつま芋の収穫
12月	クリスマス立食パーティー(バイキング) おでんパーティー
1月	もちつき大会(ぜんざい・雑煮) クッキング…プリンアラモードのフルーツトッピング
2月	クッキング…ビーフシチュー
3月	たこ焼き大会 おでんパーティー
※月に一度、給食弁当の日を設け、各家庭からお弁当箱を持参し、給食を詰める。 以上児は自分たちで、給食をお弁当箱に詰める。	

※給食の食べ方として、姿勢 箸(スプーン・フォーク)の持ち方 食器に手を添えるなど十分な働きかけができていないので、それが子どもたちの給食の様子に表れていることを感じている。  
日々の積み重ねを大切にすることを職員で意識統一する。

※2018年度 アレルギー児への対応

	年齢・性別	アレルギー	除去の状況	解除
1	0歳女児	乳	牛乳・生クリーム・プリン・ヨーグルト・ホワイトソース・マヨネーズ除去 つなぎ・チーズ・バター・マーガリン・マヨネーズ・乳酸菌飲料・焼き菓子OK	
2	1歳男児	卵・乳・魚介類・その他	完全除去 ※専用の調理器具、食器が必要 パン・ごま・パイン・キウイフルーツ・バナナ	
3	1歳男児	卵 その他	完全除去 魚介類・柿・ナッツ・そば除去	2018年3月卵解除
4	2歳女児	卵 乳	卵は除去 つなぎはOK(ハム・練り製品・食パン・クッキー) 乳は除去 つなぎはOK(バター・マーガリン・焼き菓子)	
5	2歳女児	卵	卵は除去 つなぎはOK(ハム・練り製品・パン・クッキー)	2018年4月 解除
6	3歳女児	卵	完全除去 ※専用の調理器具、食器が必要	2019年1月 解除
7	4歳男児	卵	卵・マヨネーズ・プリンは除去 つなぎはOK(練り製品・パン・クッキー)	
8	5歳男児	卵	完全除去 2018年6月よりつなぎOK	2018年8月 解除

参考2017年度はアレルギー児12名

- ・入園の面接時に食事の様子について担任、調理員が確認する。食物アレルギーがある場合は、必ず医師の証明を提出してもらう。(アレルギー除去食に関する連絡書、除去食指導表) 解除時も解除の連絡書等を提出してもらう。定期的(3ヶ月後、6ヶ月後等)に受診し、連絡書の再評価をしてもらう。決して保護者や園の判断で進めないようにする。また、原因食品を接種した場合に内服薬を飲ます必要のある子は、病院より内服薬を預かり保管し、万が一に備えている。アレルギーに関することは、職員会議や日々のミーティングで職員に周知徹底する。



②感染症・ケガ等について

感染症	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	参考 2017年度
インフルエンザA型										14	20		34	14
インフルエンザB型														9
感染性胃腸炎											1	1	2	14
流行性耳下腺炎	1				1								2	2
ヘルパンギーナ														2
溶連菌感染症	3	3	3	2		1			2				14	5
手足口病				43	1	1							45	23
RSウイルス						4							4	2
アデノウイルス		1		1								1	3	6
ヒトメタニューモウイルス														2
クレーブ									1				1	3
帯状疱疹				1									1	
マイコプラズマ肺炎									1				1	
合計	4	4	3	47	2	6			4	14	21	2	107	82

※インフルエンザは、A型が流行する。重症化する子はおらず定められた日数のお休みで登園できていた。職員も25名中8名が罹患したが、勤務等には大きな支障はなかった。感染性胃腸炎は例年と比較すると殆ど流行しなかった。溶連菌感染症、手足口病は、出席停止のしびりが厳しくないで、感染が広がったのだろうと推測する。

こども園で手当てをし、保護者に報告したもの(ヒヤリハット報告書)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	参考2017年度
唇のケガ		1 0歳児1名		1 3歳児1名	1 5歳児1名		1 5歳児1名						4	15
打ち身等	6 0歳児1名 1歳児2名 4歳児2名 5歳児1名	4 0歳児1名 1歳児1名 2歳児1名 4歳児1名	4 0歳児2名 1歳児2名 4歳児1名	4 0歳児2名 1歳児1名 5歳児1名	5 0歳児2名 1歳児2名 2歳児1名	2 0歳児1名 3歳児1名	5 0歳児2名 1歳児2名 4歳児1名	4 1歳児1名 4歳児1名 5歳児2名	2 0歳児2名	5 0歳児3名 1歳児2名	9 0歳児4名 1歳児5名	4 0歳児3名 2歳児1名	54	39
ひっかき	3 0歳児1名 4歳児2名	2 0歳児1名 5歳児1名	3 0歳児1名 1歳児2名			1 1歳児1名		1 1歳児1名		1 1歳児1名		2 1歳児1名 2歳児1名	13	15
かみつき	1 3歳児1名	2 0歳児1名 2歳児1名	3 1歳児2名 2歳児1名	1 3歳児1名		1 4歳児1名		4 0歳児3名 4歳児1名		1 4歳児1名		1 1歳児1名	14	13
すり傷等	2 1歳児1名 4歳児1名	2 1歳児1名 5歳児1名			2 1歳児1名 6歳児1名		2 1歳児1名 5歳児1名			1 5歳児1名	2 3歳児2名	1 5歳児1名	12	3
つねる		1 0歳児1名											1	
指をつめる			1 1歳児1名	1 2歳児1名	1 0歳児1名								3	
誤食		1 3歳児1名							1 4歳児1名				2	
前歯を打つ				1 5歳児1名									1	
骨折										1 2歳児1名			1	
切り傷								1 1歳児1名					1	
虫さされ			1 1歳児1名										1	
合計	12	13	12	8	9	4	6	12	3	9	11	8	107	85

内病院を受診したものの5件(参考2017年度10件)

※誤食が2回ある。アレルギー食の配膳は、徹底していたが、2回とも担任以外の地域担当の職員が関わった時に発生した。家では挑戦している食材だったので症状はでなかった。アレルギー児は全職員が把握しているが、命に関わることなので、その都度声かけ、確認の必要性を強く感じた。

## 病院受診のケガ

▷眉間下のすり傷…1歳児 Bブロックを車に見立てて遊んでいるとき手がすべり、顔にBブロックが当たる。水曜日の夕方だったこともあり、松山市の形成外科が午後休診、整形外科を受診する。適切な治療がなされず、翌日形成外科を受診。塗り薬とシートで保湿をする治療を行う。約3か月通院し、傷もあまり目立たなくなる。

▷右まぶたのむしやさされ…1歳児 園庭で遊んでいた時に蚊にさされた疑い。翌日の登園時腫れがひどかったので、園より皮膚科を受診。体質的に腫れやすいようだ。塗り薬を処方される。

▷前歯を打つ…5歳児 玩具を片付けようと走り転ぶ。椅子に歯をぶつけ前歯から出血する。囑託医の道田小児歯科を受診する。レントゲンを取り、消毒をする。

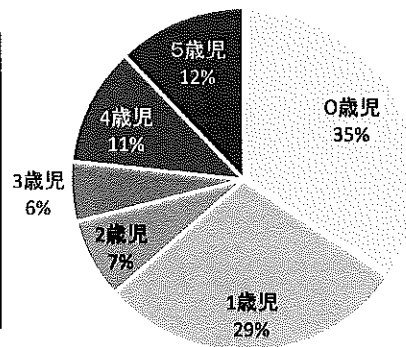
▷切り傷…1歳児 ナーサリージム(室内大型遊具)に上ろうとしてバランスを崩しあごを強く打ち血が滲む。わたなべ形成外科を受診する。傷テープで様子を見る。3回受診。

▷右手首骨折…2歳児 園庭で走っていて一人で転倒。直後は顔を押しさえていたが、着脱の際右手を使おうとしなかったため整形外科を受診する。

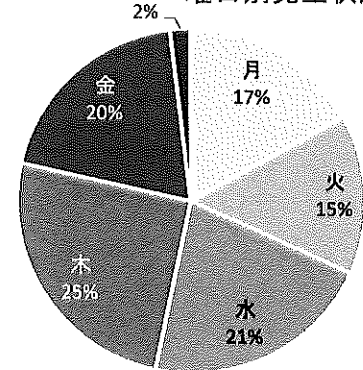
曜日別のケガの件数

	月	火	水	木	金	土	合計
午前	10	7	14	15	6		52
午後	8	9	9	12	15	2	55
合計	18	16	23	27	21	2	107
曜日別 病院を受診したもの							
午前	3						3
午後	1		1				2
合計	4		1				5

年齢別ケガの状況



曜日別発生状況



## ③苦情及び苦情解決の状況について

平成30年度苦情件数 … 1件

申請日: 2018年5月24日(木)

内容…ケガの状態が予想以上だった。最近ケガが多くなっている。

要望…ケガには細心の注意をはらってほしい。クラスの職員を増やすとか保育の方法を今一度見直して欲しい。

経過・結果…改めてケガに対してのお詫びをする。クラスの職員は、5月に一人増員していることを話す。また、職員間で振り返りし、細心の注意をはらって保育することを伝える。園としては、形成外科の受診が難しいときの対処の仕方を検討する。通院は、園が最後まで責任をもって行った。想像より、傷跡が残らず保護者もその点は安心していた。

④ 研修参加状況について

平成30年度 施設外研修

No.	実施月	研修会名	参加職種	研修内容	場所
1	H30.4.7	平成30年度 松山市保育会総会	主幹保育教諭	・総会 ・全体研修 トークライブ「心のアウトプット～言葉と音楽は子どもたちを輝かせる魔法」	松山市
2	H30.4.13	日本キリスト教保育所同盟 2018年度 四国地区理事長・園長会	園長	開会礼拝 総会 第一部「本部活動報告、会員各園の状況報告」 総会 第二部(1)2017年度四国地区活動報告と決算報告承認の件 (2)2018年度四国地区諸計画案と予算案承認の件 (3)2018年度各研修会内容の検討	徳島県
3-①	H30.6.22	平成30年度 体育実技研修会 リーダー会	保育教諭	体育実技研修会 打ち合わせ	松山市
3-②	H30.6.30	平成30年度 体育実技研修会	保育教諭	体育実技	松山市
4	H30.5.22 H30.5.23	平成30年度 愛媛県教育・保育施設初級職員研修会	保育教諭	講義Ⅰ「保育士として」 講義Ⅱ「新保育所保育指針改定のポイントと幼児期の終わりまでに育って欲しい10の姿とは？」 講義Ⅲ「動物が教えてくれたこと」 講義Ⅳ・実技「絵本・おはなしと遊ぼう！～参加型絵本・パネルシアター・エプロンシアターの実演～」	松山市
5	H30.5.30	平成30年度 発達支援実践研修(第1回)	保育教諭	演題「こぼれを育てる関わり方と支援の方法」	松山市
6	H30.5.23	平成30年度 第1回 松山市地域子育て支援拠点事業連絡会	指導保育教諭 保育教諭	愛媛県警「親子の絆づくり教室」案内 地域子育て支援拠点事業について 自己紹介	松山市
7	H30.6.5	中堅保育士・保育教諭研修会	保育教諭	講義内容「良い園を作るために中堅保育士が果たすべき役割」	松山市
8	H30.6.13	平成30年度 障がい児保育実践研修会(第2回)	保育教諭	「気になる子どもたちが過ごせる保育園」～保護者・保育園・療育機関との連携について～	松山市
9	H30.8.18	HANAセミナー	保育教諭	・オリジナル遊びうたを楽しもう！ ・うたって動いてリズム遊び！ ・いろいろな楽器の正しい使い方を知りましょう！ ・鍵盤ハーモニカを楽しむ裏ワザ！ ・簡単なリズム打合せをしよう！ ・有音程打楽器の簡単な導入を知ろう！ ・鍵盤ハーモニカサンプルで美しいハーモニーを奏でよう！ ・各年齢に応じた器楽合奏を実際に演奏しながら、まともな方を身につけよう！ ・トーンチャイムの紹介をします！	松山市
10	H30.7.26 H30.7.27	平成30年度 保育士等キャリアアップ研修 専門分野別研修「①乳児保育」	保育教諭	講義Ⅰ「乳児への関わりと発達に応じた保育」 講義Ⅱ「乳児教育の指導計画、記録及び評価」 発表・グループ討議「子どものより良い育ちにむけた関係機関とのネットワーク」 講義Ⅲ「乳児の発達に応じた保育内容」 講義Ⅳ「赤ちゃんから学ぶ子どもの発達①」 講義Ⅴ「赤ちゃんから学ぶ子どもの発達②」	松山市
11	H30.7.18	主任保育士・主幹保育教諭研修会	主幹保育教諭	講義内容「主任保育士・主幹保育教諭の立場と役割」	松山市
12	H30.7.3	平成30年度 障がい児保育実践研修会(第3回)	保育教諭	演題「子どもの発達や特性に応じた遊び」	松山市
13	H30.8.8 H30.8.9	平成30年度 保育士等キャリアアップ研修 専門分野別研修「②幼児教育」	保育教諭	講義Ⅰ「幼児教育の環境～幼児期に相応しい生活としての会話や対話による保育～」 講義Ⅱ「幼児の発達に応じた保育内容～つぶやきに見られる子どもの内面の発達～」 講義Ⅲ「小学校との接続～子どもの10の姿と発達の過程～」 講義Ⅳ「最善の利益の保証とは？」 講義Ⅴ「幼児教育の意義～3法令改訂のポイント解説」 講義Ⅵ「幼児教育の指導計画、記録及び評価～具体的な計画・指導計画の意義、写真を活用した保育記録作成演習～」	松山市
14	H30.7.21	平成30年度 発達障がい者支援者研修会	園長 保育教諭	講演①「発達障がいの子どもたちへ指導や支援の基本的な考え方」 行政説明 講演②「教育の視点から見た発達障がい」	松山市
15	H30.7.21	松山市保育会相互研修	指導保育教諭	ワークショップ「木であそぼう！」	松山市
16	H30.8.20	愛媛県園長等運営管理協議会(主任等の部)	主幹保育教諭	「障がいのある子どもの特性をいかす保育と交流及び共同学習について」 「幼稚園における主任等の役割について」「園内研修の進め方について」	松山市
17	H30.8.29	平成30年度 課題別研修 「【幼児教育】学びをつなぐ幼小連携の在り方」	保育教諭	講義「幼小連携について」 講義・演習「交流活動の工夫」 講義・実技「遊びから学びへ(運動遊び)」	松山市
18	H30.8.8	平成30年度 第2回 松山市地域子育て支援拠点事業研修会	保育教諭	講演「地域に求められている拠点のあり方」 ガイドラインの解説・グループワーク・質疑応答 事務連絡	松山市
19	H30.8.2	給食施設のための栄養講習会	調理員	講演Ⅰ「給食施設の衛生管理」 講演Ⅱ「災害時の食事について」 その他情報提供	松山市
20	H30.8.17	平成30年度 聴覚障がい児担任者研修会	保育教諭	・聴能訓練の紹介 ・難聴疑似体験 ・講演会「聴覚障がい児の理解と支援について」	松山市
21	H30.9.3	平成30年度 発達支援実践研修会(第4回)	保育教諭	・幼小連携の課題～気になる子への配慮をどうするか～	松山市

22	H30.9.25 S H30.9.26	平成30年度 保育士等キャリアアップ研修 専門分野別研修「③障がい児保育」	保育教諭	講義Ⅰ「発達障がいをもった子どもの特性と理解」 講義Ⅱ「新保育所保育指針とダイバー シティ保育」 発表・グループ討議「配慮を必要とする子どもや家庭への支援にむけて」 講義Ⅲ「当事者からのメッセージ～支援者に知ってほしいこと～」 講義Ⅳ「よりよき相談援助の姿を求めて」 講義Ⅴ「気になる子」	松山市
23	H30.9.13	平成30年度 第3回 松山市地域子育て 支援拠点事業研修会	指導保育教諭	講演「未来につながるべうたあそび」 グループ討議・情報交換	松山市
24	H30.10.25	保育所等給食・食育担当者研修会	調理員	講話「大量調理施設衛生管理マニュアルについて」「保育所等給食での衛生管理について」 事例発表「保育園での給食・食育の取組について」	松山市
25	H30.10.9 S H30.10.10	平成30年度 保育士等キャリアアップ研修 専門分野別研修「④食育・アレルギー対応」	調理員	講義Ⅰ「子どもたちを輝かせる魔法の食育～人生を変える幸せの種まき～」 講義Ⅱ「子どもたち の豊かな食歴を育むために～みんなで食べると楽しいね～」 発表・グループ討議「家庭や地域 との連携による食育の推進」 講義Ⅲ「保育所における食物アレルギー対応」 講義Ⅳ「口から見える子どもの健康①」 講義Ⅴ「口から見える子どもの健康②」	松山市
26	H30.11.26 S H30.11.27	認定こども園園長・副園長(教頭) ステップアップ研修会	園長	講座1「地域連携・子育ての支援」 講座2「特別支援・障がい児保育」 講座3「ワークショップ」 講座4「教育・保育要領Ⅱ」 講座5「教育及び保育の内容並びに子育て支援等に関する全体的な 計画」 講座6「危機管理・法令遵守」 講座7「質の向上(保育実践)」	松山市
27	H30.11.5 S H30.11.6	平成30年度 保育士等キャリアアップ研修 専門分野別研修「⑤保健衛生・安全対策」	保育教諭	講義Ⅰ「愛されて育つ子どもたち①」 講義Ⅱ「愛されて育つ子どもたち②」 講義Ⅲ「愛されて 育つ子どもたち③」 講義Ⅳ「子どもを預かる施設の深刻事故予防～保育も安全も『声を出すこ と』から～①」 講義Ⅴ「子どもを預かる施設の深刻事故予防～保育も安全も『声を出すこと』から ～②」 講義Ⅵ「子どもを預かる施設の深刻事故予防～保育も安全も『声を出すこと』から～③」	松山市
28	H31.1.26	研修会	保育教諭	講義内容「豊かな感性と創造性の芽生えを育むために」～幼児期の終わりまでに育ててほしい 10の姿をふまえて～	松山市
29	H30.11.7	研修会	園長	講義「子どもを預かる施設における深刻事故(災害を含む)の予防:施設長の役割、 リスク・マネジメント」	松山市
30	H30.10.29	発達支援ルームでこぼん 講演会	園長 保育教諭	テーマ:「気になる子ども達の理解と支援～感覚統合を切り口に～」	松山市
31	H30.11.1	平成30年度 第4回 松山市地域子育て 支援拠点事業研修会	保育教諭	講演「遊びの重要性～豊かな発達のために～」 グループ討議・情報交換	松山市
32	H30.11.15	第31回 保育士対象動物教室	保育教諭	絵本の読み聞かせ講習 講義「動物園の役割と動物との接し方」 「ウサギの心音と小動物のスキンシップ」 ふれあい教室	砥部町
33	H30.12.11	平成30年度 障がい児保育派遣研修会	保育教諭	演題「気になる子どもとその関わりについて」	松山市
34	H30.12.18 S H30.12.19	平成30年度 保育士等キャリアアップ研修 専門分野別研修「⑥保護者支援・子育て支援」	保育教諭	講義Ⅰ「ことばの育ち こころの育ち」 講義Ⅱ「地域共生社会における子育て支援」 発表・グループ討議「地域の子育て家庭への支援の充実にもついで」 講義Ⅲ「子育て支援の考え 方とその実際①」 講義Ⅳ「子育て支援の考え方とその実際②」 講義Ⅴ「保護者からの子育て支援はどうあるべきか」	松山市
35	H31.1.19	冬の絵本講座	保育教諭	講演「かがくでともだちづくり」「お話の階段」	松山市
36	H30.12.12	給食担当者研修会	調理員	講演・実習内容「デコずしで彩るクリスマス&ひな祭り」	松山市
37	H31.1.10	平成30年度 第5回 松山市地域子育て 支援拠点事業研修会	指導保育教諭	講演「前向き子育てプログラム トリプルPについて～子育ての悩みを解決するための技術～」 グループ討議	松山市
38	H31.1.21 S H31.1.22	平成30年度 保育士等キャリアアップ研修 「⑦マネジメント研修」	保育教諭 事務員	講義Ⅰ「リーダーシップ」 講義Ⅱ「働きやすい環境づくり」 発表・グループ討議「保育者の資質向上を図る」 講義Ⅲ「マネジメントの理解」 講義Ⅳ「組織目標の設定」 講義Ⅴ「人材育成」	松山市
39	H31.1.12	研修会	園長 主幹保育教諭 指導保育教諭  保育教諭	講演「自園の取り組みについて」 グループ討議	松山市
40	H31.1.25	平成30年度 松山市要保護児童対策 関係機関研修会	主幹保育教諭	「児童虐待発見時における要保護児童や保護者への対応について」	松山市
41	H31.2.6	平成30年度 四国ブロック保育組織 次世代リーダー研修会	園長	講演Ⅰ「子どもの心育てる保育にはエピソード記述が欠かせない～子どもと保護者の接面では 何が起きているのか～(前編) 講演Ⅱ「同上」(後編)	松山市
42	H31.2.7	平成30年度 愛媛県教育・保育施設長 研修会	園長	講義Ⅰ「東日本大震災を経験して～大切な命を守るために～」 講義Ⅱ「保育行政の動向と保育施設に求められること」	松山市

43	H31.2.9	平成30年度 第3回発達障がい支援者研修会	保育教諭	シンポジウム「幼児期から就学へつなげる支援」「幼児期からつながる小学校の取り組み」 「幼児期の支援と就学にむけた取り組み」 行政説明「教育における『個別の教育支援計画』の作成・活用」 講義・演習「切れ目のない支援の視点を取り入れた個別の支援計画」 特別講演「学習障がい～子どもと家族の困りごとと学習の進め方～」	松山市
44	H31.2.26 H31.2.27	平成30年度 保育士等キャリアアップ研修 「㊟保育実践研修」	保育教諭	講義Ⅰ「幼児期における体育遊びの必要性」 講義Ⅱ「新しい時代の保育内容表現を理解する～ごっこ遊びから劇の発表会へ～」 発表・グループ討議「新たな時代の保育実践～すべての子どもにむけて～」 講義Ⅲ「絵本は大切なこころの栄養です。～遊びから学びへ…自然に育つ興味 の芽～」 講義Ⅳ「どんな絵に見えますか～様々な子供たちの作品について～」 講義Ⅴ「音楽療法と音あそび～障がい児と健常児の垣根を越えて～」	松山市
45	H31.2.13	初級職員研修会	保育教諭	講義内容「察しが良いと言われる仕事の仕方・聞き方」	松山市
46	H31.2.12	会計の実務と日常の仕訳処理	園長 事務員	社会福祉法人会計基準における特徴的な会計処理 社会福祉法人会計基準の仕訳事例 計算書類等の関連性について 委託費の弾力運用について 経理規程について ほか	松山市
47	H31.3.28	松山市保育会代議員会	保育教諭	1.平成30年度事業報告・平成30年度会計報告 2.平成31年度事業計画・平成31年度会計予算	松山市

## ※子ども・子育て連絡協議会について

行政説明会、打ち合わせ、交流会に園長が参加する。

2018年度（平成30年度）  
ガリラヤ荘 事業報告

《 事業の種類 》

- I. 特別養護老人ホーム〈介護老人福祉施設〉 定員80名
- II. (介護予防) 短期入所生活介護事業〈ショートステイ〉 定員20名
- III. (介護予防) 通所介護事業〈デイサービス〉 定員35名
- IV. 居宅介護支援事業
- V. 在宅介護支援センター
- VI. (介護予防) 訪問介護事業〈ホームヘルプサービス〉

ガリラヤ荘（全体）

取組事項	実践内容
命と尊厳を守り 安心して生活できる 施設づくり	<p>《利用者が中重度（平均介護度4.1）の状況の中で笑顔のある暮らしをおくるために》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 平穏ケア（トータルケア）の実践…入院日数の減少502日 （前年度より184日減・事業開始以来最少日数） 多職種による困難事例検討（ダブルチェック）の定着</li> <li>② ハピネス・オブ・ライフ（HOL）の提供…外出・クラブ活動の充実</li> <li>③ 介護力を高める研修…基礎介護と上級介護研修の実施、排泄ケアの見直し 「食べる口」から「出す口」までのケア充実</li> <li>④ 感染症の集団発生…インフルエンザ5名（職員のみ）</li> <li>⑤ 虐待・身体拘束0件</li> <li>⑥ 家族との情報共有のため、家族会開催（2日間・52家族65名参加）</li> </ul>
在宅生活継続 の支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 在宅利用者のトータルのサポート…トータルケア・アセスメントと記録シートの活用</li> <li>② 地域サロンへの出前講座…認知症・脱水症・便秘症と介護予防体操について（4か所）</li> <li>③ 男性介護者対象のおとこ塾開催…「そば打ち」等2回開催参加者14名</li> <li>④ 関係機関と連携した地域づくり…東温市生活支援協議体、介護ネット東温、東温市健康相談</li> </ul>
地域・広報活動 の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ホームページやブログ等での情報発信と新パンフレットの作成</li> <li>② 幼・保・学校との交流と住民ボランティア受入</li> <li>③ ガリラヤ荘感謝祭2018の実施（11月25日）</li> <li>④ 地域自主防災組織との連携…合同訓練（年2回）</li> </ul>
やりがいを感じ 働きやすい 職場づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ストレスチェックの実施（8月）…こころ塾に従業員支援事業を委託（職員こころの保健室）</li> <li>② リフレッシュ休暇（連続9日）の実施（介護職）</li> <li>③ 第4回実践事例発表会開催（2月8日・9事例発表）…職員会（3月）にて表彰</li> <li>④ 第3回部門別えがお大賞投票実施（1月）…職員会（3月）にて表彰</li> </ul>
安定運営の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 毎月の運営会議にて、各部署の実績確認（コスト意識の周知）</li> <li>② 排泄ケアの見直しによる経費削減</li> </ul>

I. 特別養護老人ホーム（介護老人福祉施設）

1. 入所者の状況（平成31年3月31日現在）

【出身地別入所・退所状況】

出身地 (保険者)	保険者別入所者数			平成30年度中の移動状況					
				入 所			退 所		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
東温市	17	48	65	6	7	13	3	11	14
松山市	3	10	13	2	1	3	1	1	2
宇和島市	0	0	0	0	1	1	0	1	1
砥部町	0	1	1	0	0	0	0	0	0
大洲市	0	1	1	0	0	0	0	0	0
合 計	20	60	80	8	9	17	4	13	17

【年齢構成】

項 目	男	女	全体
入所者数	21	59	80
平均年齢	83.8	90	88.4
最高齢	96	107	
最年少	73	75	

【要介護度別人数】

要介護度別	男	女	計
1	0	2	2
2	1	4	5
3	4	9	13
4	7	15	22
5	9	29	38
平 均	4.14	4.1	4.11

2. 医療の状況（平成31年3月31日現在）

【入院状況】

	実人数	延べ日数
4月	5	33
5月	4	51
6月	0	0
7月	4	43
8月	2	18
9月	6	77
10月	8	69
11月	3	40
12月	5	73
1月	5	49
2月	4	12
3月	3	37
合 計	49	502
月平均	4.1	41.8

【入院疾患別人数（延べ人数）】

疾 患 名	今年度	前年度
肺炎	16	19
心疾患	2	6
脳梗塞	1	0
尿路感染症	2	6
腸閉塞	3	1
骨折	3	0
胆石・胆のう炎	1	1
その他(癌/帯状疱疹含む)	4	14
合 計	32	47

※緊急搬送回数 1回（前年度 0回）

【医療管理状況】

医 療 行 為	今年度	前年度
胃ろう	4	3
腸ろう	0	0
在宅酸素療法	1	1
人工肛門	1	1
尿道留置カテーテル	0	0

\*前年度実人数 71名

延べ日数 686日

〈感染症報告〉

インフルエンザ対策として、今年度よりアルコール手指消毒剤を導入し徹底した感染対策を行ったところ、利用者の感染者を出さずに冬季を乗り切ることができた。職員の感染者はあったが、施設内への感染拡大はなかった。また、ノロウイルス等の感染症の発生もなかった。

平常時から標準的予防策を徹底することで、しっかりと感染予防ができていると思われる。

【まとめ】

入所者の要介護度の重度化は今もお進んでいる。そのような中で今年度は入院日数が過去最少であった。これは他職種によるダブルチェックが定着し、後手に回らず適切なケアが提供できている結果だと思われる。

次年度はノーリフティングを導入し、入所者の拘縮予防と職員の腰痛予防に努めていきたい。

インフルエンザ	A型	B型
特養入所者	0	0
短期利用者	0	0
デイ利用者	0	0
特養職員	2	0
短期職員	1	0
在宅職員	2	0
デイ職員	0	0
合 計	5	0

3. 機能訓練の状況

「口腔ケア（リハビリ）の周知徹底」「心身機能の維持・向上とトイレでの排泄につながる支援」「アンカー・バックサポートを使用し、適切なポジショニングの実施」を目標に取り組んだ。歯科医師、歯科衛生士による「口腔衛生管理体制加算」を平成30年6月より実地。ポジショニングはロンボクッションを導入し、ポジショニング等のカードを作成、個別の対応徹底を図っている。また、移乗介助機器として床走行リフト等も導入して取り組んでいるが、トイレでの排泄まではつながっていない。次年度のノーリフティングケアの取組で研修し定着を図りたい。

【週間スケジュール】

	担 当	月	火	水	木	金	土
午前	介護職員	集団体操 (各ユニットにて)					
	機能訓練指導員	南1丁目 個別	ダブル チェック	中1丁目 個別	中2丁目 個別	南2丁目 個別	フリー 個別
	介護職員	お口の体操 (各ユニットにて)					
午後	機能訓練指導員	レクリエーション 風船バレー・音楽クラブ (週1回程度) クラブ活動 縫布クラブ (第1火曜)・習字クラブ (第2水曜)・俳句会 (第4水曜)					
	理学療法士 (非常勤)		特養2階 宮岡PT	個別 十全PT		特養1階 宮岡PT	

【機能訓練内容】

職 種	目 的	内 容
介護・看護職員	生活リハビリ	離床、口腔ケア・リハ、座位・立位訓練、手作業など
	集団体操	朝の集団体操、お口の体操
機能訓練指導員	個別機能訓練	関節可動域訓練、口腔リハ、座位・立位訓練など
	集団活動	集団体操 (朝の集団体操、お口の体操など) 集団レクリエーション (音楽クラブ、風船バレーなど)
理学療法士 (非常勤)	個別機能訓練	機能評価、関節可動域訓練、立位・歩行訓練など



【外部専門家によるスーパーバイズ】

	内 容
歯科医師	・「口腔衛生管理体制加算」のための介護職への口腔衛生指導（月1回） ・「口腔衛生管理体制加算」のための口腔内チェック（月1回）
歯科衛生士	・個別の口腔ケア・ミールラウンド（随時） ・「口腔衛生管理体制加算」のための口腔ケア（月2回） ・「経口移行」「経口維持」のためのミールラウンド（月1回）
福祉用具専門相談員 （福祉用具業者）	・福祉用具の点検・整備 ・ノーリフティングケアに関する情報提供・相談など（月2回程度）

4. ユニットケアの状況

『重点目標』

- ≪1≫ 平穏ケア（トータルケア）の実践により、穏やかな生活の支援
- ≪2≫ 利用者がうるおい、笑顔のある暮らしと喜びを感じる毎日を作り出すケア
- ≪3≫ 利用者の重度化に対応する研修及びチームケアの定着

【全体】

目標	取 組	実 践 内 容	
トータルケアの実践	記録システムの継続	① 「総合記録シート」「介護日誌」「ユニット会議議題書」を活用したケアの継続 ② 多職種/ユニットリーダーによる「状態確認（ダブルチェック）」と「ケア方法検討（カンファレンス）」の実践 ③ 朝礼（朝の申し送り）方法（指示、助言）の見直しと実践	
	基礎介護理解の継続	基礎介護勉強会の実施	4月5月「移乗」 ※月3回実施 7月「食事」 10月「排泄」 11月「認知症」 2月「入浴・褥瘡」
		ケア方法の見直し	① 食事ケア、口腔ケア、陰部洗浄ケアは、基礎介護実践が定着。 ② 水分ケアは種類、適切な水分の提供を実施。 ③ 排泄ケアは排泄アドバイザーを招き、知識・技術の習得に努めるとともにパッドの見直しと一部トイレ支援を取組む。
		全国高齢者ケア研究会への参加	・全国高齢者ケア研究会（大分県） 平成31年2月 2名（施設長、生活支援課長参加）
	業務マニュアルの継続	① 各ユニットのオペレーションシート作成の継続により、平常時の統一した業務内容を明確化。利用者及びユニットの状況変化に応じた更新を実践。	
多職種協働による情報共有	① 多職種協働連携室を活用し、情報共有の拠点として、ミーティング、各種委員会の運営を実践		
資質向上/人材育成の実践	定期面談による職員への助言・指導	① 主任/リーダー等の面談方法の統一を図り、職員の不安を取り除き、組織人としての自覚と専門職としての責任について継続支援 ② 能力評価によるフィードバック（年間2回及び随時）	
	介護職員が働きやすく、専門性を高めることができる支援体制の実施	正規職員（夜勤者優先）へのリフレッシュ休暇導入	年間9連休（休日3日+年休6日）を取得
		各研修、勉強会の充実	・基礎介護、上級介護他 「接遇」「口腔」「看取り」「メンタルヘルス」等
新卒採用者研修体制の継続	新人研修運営	① 新人研修テキスト作成 ② 業務進捗状況チェックシートを作成。各新人職員の習得状況を確認しながら年間指導を実施	

資質向上／人材育成の実践	内部研究発表会による研鑽	実践事例発表会	<p>・第3回 5ユニット実践報告会開催          実践機関：6ヶ月間          発表時期：平成31年2月8日          最優秀賞「南2丁目（特養）」          『少しでもADLを向上し、日常生活において互いの負担を軽減したい』          優秀賞「ガリラヤ久米デイサービス」          『利用者の夢を叶えるデイサービスでありたい          ～100歳もう一度歩きたい～』          奨励賞「南1丁目（特養）」          『日中の活動量向上を図り、夜間不眠の改善を目指す』</p>
--------------	--------------	---------	---

【中1丁目（特養）】

年間ユニットイベント（実績）

4月	新春昼食会	10月	芋炊き食べてみんなほっこりよ
5月	お好み焼きを食べよう	11月	餃子を食べてこの冬を乗り越えよう
6月	あじさいドライブ/鑑賞	12月	忘年会 2018
7月	そうめん流し	1月	新年会 2019
8月	花火鑑賞(観月祭)	2月	
9月	お月見団子作り	3月	ひな祭りパーティー

年間取組と振り返り ※（自己評価 1：未実施 2：計画的実施が不十分 3：計画的に実施できた）

取組	評価	振り返り
日々楽しいことがあり満足していただける生活の支援	2	レクリエーションなどの時間が難しい中、ケアの中でコミュニケーションを図り、利用者同士、職員との笑顔が見られた。
四季を感じ落ち着いて過ごすことができる環境をつくる。	2	スタッフみんなで正月やクリスマスの飾りつけを行った。リビングや居室の掃除が十分にはできておらず、限られたスタッフしか実施できなかった。

【南1丁目（特養）】

年間ユニットイベント（実績）

4月	お花見昼食会	10月	食事会（芋炊き）
5月	ベランダ喫茶	11月	スイートポテト作り
6月	花壇作り	12月	クリスマス会/忘年会
7月	そうめん流し	1月	新年会
8月	すいか割り/花火鑑賞(観月祭)	2月	節分豆まき
9月	手作りおやつ/バイキング	3月	甘酒作り（ひな祭り）

年間取組と振り返り ※（自己評価 1：未実施 2：計画的実施が不十分 3：計画的に実施できた）

取組	評価	振り返り
余暇活動の充実を図り、日々の生活に楽しみを持って頂けるように支援する。	2	前年度に比べて離床する機会が増え、風船バレーや散歩などに積極的に取り組むことができた。感染症が流行して以降は、終息後も余暇活動に取り組むことが少なくなった。
季節物の掲示を行い利用者が落ち着いて生活できる環境づくりを行う。	3	季節に合わせて掲示物を工夫することができた。しかし、取り組む職員に偏りが見られ、次年度はみんなで声を出し合って取り組みたい。

【中2丁目（特養）】

年間ユニットイベント（実績）

4月	お茶会	10月	芋炊き
5月	散歩	11月	スイートポテト作り
6月	手作りおやつ	12月	クリスマス会/忘年会
7月	そうめん流し	1月	新年会
8月	花火鑑賞(観月祭)/スイカ割り	2月	節分豆まき
9月	お月見団子作り	3月	おはぎ作り

年間取組と振り返り ※（自己評価 1：未実施 2：計画的実施が不十分 3：計画的に実施できた）

取組	評価	振り返り
利用者の声に耳を傾け、より楽しく笑顔で過ごして頂けるよう支援する。	2	年間実施イベントは計画的に実施できた。レクリエーション、体操など時間に余裕がある時に実施しているが一部の職員で実施することが多かった。
清掃に努め、清潔感のあるユニットづくりを行う。	2	居室清掃は、毎月実施表を作成し、漏れなく実施することができた。窓ガラスや汚れがこびりついている床をきれいにできればさらに良いと思う。

【南2丁目（特養）】

年間ユニットイベント（実績）

4月	手作りおやつ喫茶	10月	食事会（芋炊き）
5月	若葉昼食会	11月	季節のおやつ作り
6月	あじさい鑑賞喫茶	12月	クリスマス会/忘年会
7月	そうめん流し	1月	新年会
8月	花火鑑賞(観月祭)/スイカ割り	2月	節分豆まき
9月	お月見団子作り	3月	おやつバイキング

年間取組と振り返り ※（自己評価 1：未実施 2：計画的実施が不十分 3：計画的に実施できた）

取組	評価	振り返り
メリハリがある生活を送れるよう余暇時間の充実を図る。	2	業務のことでいっぱいになり、計画性が不十分で、十分な実施に至らなかった。
季節ものの掲示や花を生けたりし、暖かい環境づくりに努める。	3	環境美化係が積極的に活動し、季節に合った環境、飾り付けができたと思う。

【北2丁目（短期）】

年間ユニットイベント（実績）

4月	花見昼食	10月	紅葉ドライブ
5月	豆ご飯	11月	炊き込みご飯
6月	あじさいドライブ	12月	クリスマス会/忘年会
7月	そうめん流し	1月	新年会
8月	花火鑑賞(観月祭)/かき氷	2月	節分豆まき
9月	焼き芋	3月	ちらし寿司

年間取組と振り返り ※（自己評価 1：未実施 2：計画的実施が不十分 3：計画的に実施できた）

取組	評価	振り返り
体操やレクリエーションなど利用者が楽しめる活動を通し、メリハリのある生活が送れるよう支援する。	3	体操、レクリエーションともに毎日行うことができた。利用者の中には参加して体を動かすことが日課になっている方もいる。
リビングの壁面やテーブルに季節の花などを飾り、会話が弾むような環境作りに努める。	2	季節に合った環境作りに努めることはできた。異食のリスクがあり、安全面に配慮すると殺風景なることがあったためもう少し工夫することができれば良かった。

【家族会】

開催日：総会（平成31年3月17日）・総会予備日（平成31年3月21日）

参加人数：52家族65名

食事・排泄（布パンツへの移行・個人購入発生）、ノーリフティングケア等施設の取組み、消費税増税による料金改定の可能性について説明、報告。また、家族の希望意見により、今までにあった苦情意見と対応について報告。事務処理として、口座振替への移行により、移行完了済みの通帳・印鑑を参加家族へ引継ぐ。総会終了後、各ユニットに懇談の場を設け、入所者についてのお話や家族からの意見を伺った。

【総評】

トータルケアの実践が年々定着しており、他職種によるダブルチェックや困難事例カンファレンスを行うことで後手に回らず適切なケアが行われていることを実感している。その結果、稼働率が過去最高（98.1%）を達成し、入院総数は過去最少（502日）となった。今後も基本に沿ったトータルケアを実践し、入所者の穏やかな生活のサポートを目指す。

働きやすい職場づくりの一環としてリフレッシュ休暇9連休を取得。また、エルダー制による定期的な面談や内部研修の充実に努めたことにより、職員の定着と育成が図れた。

今年度は経験の浅いリーダーを育成することの難しさを痛感した1年であった。次年度は計画的に育成することに重きを置きたい。

また、新人職員をはじめ腰痛で体調不良を訴える職員が多かった。次年度はノーリフティングケアを導入し、入所者の拘縮予防を図るとともに、職員の腰痛予防に取組み安心安全な介護現場・労働環境の整備を行いたい。

II.（介護予防）短期入所生活介護事業（ショートステイ）

1. 重点目標の評価

「最期まで安心した在宅生活を送れるよう支援する」ために、特養でのノウハウを踏まえた総合記録シートを活用し、在宅部門も含めて多職種で情報を共有して事例を検討。観察による異常の早期発見、多職種によるアセスメントを実施。結果として、職種及び在宅部門間の情報共有ができ、異常の早期発見、ケア方法の見直しに繋がった。居宅介護支援事業所への広報活動、情報サイトでの定期的な空室情報の更新等により、新規利用者を獲得し、年間平均稼働率は88%（前年度83%）になった。

III. (介護予防) 通所介護事業 (デイサービス)

1. 重点目標の評価

※ (自己評価 3: 達成 2: ほぼ達成 1: 未達成)

取 組		評 価	振 返 り
個別ケアの実施	在宅版総合記録シート活用。情報の共有による個々の体調管理サポート、きめ細やかなサービス提供を目指す。	2	① 在宅版総合記録シートの活用は不十分。 ② 朝礼、終礼、デイ会議等により具体的な情報共有を実施。 ③ 送迎シートに確認事項を記入し、対応のミスが減少。
	HOL (happiness of life) の提供を目指して、クラブ活動等アクティビティの充実を図る。	3	① ピザ窯でのピザ作りやジャンボレクリエーションなどのアクティビティが増え、好評。 ② 行事予定表を A3 サイズに拡大し、内容も充実。
	マシントレーニングを実施し、利用者の在宅生活継続と身体機能の維持を目指す。	3	① マシントレーニングは利用者の約 8 割実施。みなさん意欲的に取り組まれている。 ② 体力測定、体組成計測を要支援の方は全員実施。要介護 1 から順次実施。少しずつ改善が見られている。
	認知症の方が役割を持ち、穏やかに過ごすことができるように寄り添った支援をする。	3	① 洗濯物干しや洗濯物たたみ・ご飯炊き・中庭掃除等、役割を持って取り組んでいただけた。 ② 脳トレプリント実施。スタンプラリー好評で実施意欲向上。
地域との交流	地域サロン等へ参加し、地域住民との交流を深める。	3	① 公民館で開催の文化祭などに参加。 ② 三味線、琴、フラダンス、演劇など地域住民を含む複数のボランティアの訪問あり。新規受入れや問い合わせあり、好評。
	突合や意見交換会などへの参加による介護・医療連携を図る。	3	① 介護ネット東温の突合、意見交換会等に参加し、他事業所職員と交流、情報交換ができた。
	ボランティアの受入れや地域 (保育園・学校等) や家族 (家族会等) との交流を増やす。	3	① 川内保育園 (1 回)、川上幼稚園 (2 回)、川上小学校 (4 回) との交流を実施。 ② 川上小学校のいきいき川上発表会、川内保育園のおゆうぎ会に利用者と出席。利用者や利用者家族にも喜んでいただけた。 ③ 男性介護者の会 (おとこ塾) への参加。
職員研修	運動器機能向上の為の勉強会を定期的実施し、職員のスキルアップを図る。	2	① マシントレーニングの勉強会を開催。その後、随時、個別での練習や確認作業を実施。
	施設内・外研修へ参加し、基礎介護力とサービスの質の向上を目指す。	3	① 施設内研修 (基礎介護勉強会、上級介護勉強会等) へ随時参加し、介護技術の振り返りや新しい技術を習得。 ② 施設外研修 (認知症ケアとリハビリのコツ、認知症研修会等) へ職員参加。
	業務内容の見直し。(職務分担や記録システムの改善等)	3	① 業務分担を見直し、通所計画書は生活相談員で分担。毎月の報告書や誕生日カード作成などは介護職で分担した。 ② オペレーションシートや送迎シートを活用し、他の職員の動きが確認でき、送迎対応のミスも減少。

安定 運 営 の 確 保	毎月の実績に関心を持ち、車輛や備品管理等のコスト意識を高める。	3	① デイ会で毎月の実績報告をし、コスト意識を持つことができた。 ② コスト意識の高まりとドライブレコーダーの導入により、自動車事故は減少。
	広告や行事予定表の充実を図り、広報活動を通じて新規利用者の獲得を行う。	2	① 行事予定表の内容の充実を図り、いちおし行事や職員紹介など掲載。ホームページに毎月更新している。 ② 毎月、居宅介護支援事業所へ実績と行事予定表を持って訪問。 【体験利用者31名、新規利用者21名】
	安定した運営のためにコスト意識を持ち、新たな加算取得を目指す。	3	① 毎月実績を確認し、認知症加算算定要件を満たしているかどうか確認し、デイ会で実績報告。中重度者ケア体制加算は算定不可。栄養スクリーニング加算を順次算定開始。平成31年4月より、ADL維持等加算算定開始予定。

事故レベル	内 容	件 数
I	ミスをした、または異常なレベル	19
II	バイタル異常及び要観察レベル	0
III	治療が必要だが軽度なレベル	1
IV	入院加療が必要なレベル	0
合 計		20

## 2. 苦情処理 苦情処理件数 1件

苦情内容 ・家族から、本人が体調不良のため直接手渡しの薬があるので送迎時に声掛けて欲しい旨、事前に連絡を受けていたが、出来ていなかった。

対 応 ・在宅支援部長、担当介護支援専門員（当事業所）、デイ責任者が訪問し謝罪。送迎対応勉強会を全職員で行い、デイ会等で周知徹底した。

## 3. 事 故 インシデント（ひやり・はっと）件数 20件

東温市への報告

・平成30年10月17日 右肋骨ひび（トイレで一人立上り転倒。処置なく自宅で安静）

## IV. 居宅介護支援事業

### 1. 重点目標の評価

地域包括ケアシステムの確立に向け、生活支援体制整備事業や地域医療連携などの行政活動に関わり、個人のマネジメントにとどまらず、社会資源を活用したケアマネジメントの質の向上を図った。また、事業所内での事例検討会を週1回程度開催し、意見の収集やアセスメントの視点の充実を図った。

前年度に引き続き介護支援専門員の入退職があり、新人研修期間として利用者の抑制を行った時期ではあるが、順調に業務を行えている。居宅サービス担当人数については予防26名、介護105名の月平均目標は達成できており、新規の受入れも年間54件の実績となった。

取 組	振 返 り
在宅生活の維持	① トータルケアのアセスメントとしては状態把握として活用し、健康管理だけではなく家族関係や介護力等の課題が多く、事例検討を重ねている。 ② 東温市として総合事業の周知活用が充足しておらず、事業対象者がいない状態。要支援者を含め予防的な取り組みをサービスや地域活動で促している。 ③ 加算等に対してエビデンスの確認を都度行い、十分な説明ができるよう制度の理解を深めている。
資質の向上	① 介護支援専門員の更新研修や主任介護支援専門の更新研修を適宜受講。市内外で行われている事例検討や研修会に積極的に参加し、技術の向上を目指した。 ② アンケートの実施により個人では把握できない情報を収集。運営については問題なく、おおむね円滑な業務が行えているという評価だった。個別での課題についても事業所での課題ととらえ周知した。 ③ 地域ケア会議への出席や虐待事例会議など、地域の課題や困難事例についての検討を実施。協議体とのかかわりにより地域住民から直接課題を聞く機会ができる等地域活動を活発に行っている。
地域活動への参加	① 生活支援体制事業での協議体への参加を行い、高齢になっても住みやすい町づくりについて地域住民と一緒に検討することができた。 ② サロン活動への参加については昨年同様、「出前講座」として、服薬や介護予防についての介護劇を行うなど、地域交流を図るとともに介護の知識を広げる活動を行った。

2. 苦情処理 苦情処理件数 0件  
 3. 事 故 事故発生件数 0件

## V. 在宅介護支援センター

### 1. 活動実績報告

#### 【相談件数及び内訳】

	内 訳	件 数	合 計
区分	新規	68	873
	継続	805	
相談区分	家族	40	873
	本人	732	
	関係機関	101	
	その他	0	
世帯	独居	560	873
	高齢者のみ	87	
	その他	226	
相談方法	電話	131	873
	来所	148	
	訪問（電話受付）	568	
	その他	26	

#### 【相談内容及び対応】（重複あり）

相談内容	件 数
疾病・健康	602
介護	159
在宅・福祉サービス利用	273
入所・入院	6
経済的	2
苦情	0
その他	0

対 応	件 数
助言・指導	628
他機関連絡	73
申請代行	28
電話・訪問等での安否確認	202
ケアマネ後方支援	3

## 2. おとこ塾、ふれあい・いきいきサロン参加事業

日時	サロン名	場 所	参加人数(名)	内 容
10月6日	おとこ塾	ガリラヤ荘	9	芋炊き（親睦及び交流）
2月16日	おとこ塾	滑川改善センター	5	そば打ち（親睦及び体験交流）
8月1日	滑川	滑川改善センター	11	熱中症・脱水症について 緊急キッドの説明
8月25日	ほほえみ	田窪公民館	65	寸劇 お腹の話「便秘症について」 作業療法士による自宅でできる体操
11月11日	小坂	小坂集会所	16	寸劇 お腹の話「便秘症について」 作業療法士による自宅でできる体操
12月19日	なごみ	狩場集会所	20	施設見学及び説明（昼食含む）
9月6日	滑川	滑川改善センター	11	寸劇 「介護予防について」 作業療法士による自宅でできる体操
合計		7か所	137	

## 3. その他地域関連事業

	事 業 名	内 容	主 催 者
地 域 関 連 事 業	介護ネット東温	加盟事業所による行方不明高齢者早期発見・保護を行う体制を構築するための通報検索訓練（当日悪天候によりメール発信のみ）	介護ネット東温
	東温市健康相談	診察相談 地域包括支援センター出張窓口 介護相談及び後方支援	東温市健康推進課
	東温市行方不明声掛け訓練	認知症の方への声掛け	東温市地域包括支援センター
	生活支援体制整備事業	第1層・第2層協議体設置（川内・重信） 名称 助け合い・支え合いとうおん 生活支援コーディネーター決定 月1回実施 現在は合同で実施	東温市長寿介護課

地域支援活動については、サロン支援や交流を行い、地域の実情を把握するとともに施設を周知することができた。また、意見交換することで、社会資源を理解し積極的に情報発信する場となった。今年度も寸劇や自宅でできる体操等分かりやすい内容であると好評だった。

生活支援体制整備事業では、東温市に協議体を発足。名称も決定（助け合い・支え合いとうおん）し、地域の多様なメンバーが集まり今やっていること・無理なく今できる事を皆では話し合う仕組みができた。

## VI. (介護予防・障がい) 訪問介護事業（ホームヘルプサービス）

### 1. 重点目標の評価

事業開始4年目に入り、登録者人数も増加。利用者の変化を見逃さないようにこれからも各職員が情報を共有して資質向上に努めたい。また、事業所外での交流も引き続き行っていく。



取組事項	振返り
在宅生活の維持	① 自宅での安心した生活を維持するために必要な体調管理を、ケアマネージャーやサービス事業者と情報共有し、サポート。 ② 担当者会議での関係機関との情報交換。
職員研修	① 施設内外研修の参加。 ② 毎月開催のヘルパー会で、専門性の向上と情報共有。 ③ 東温市の介護ネットへの参加。 ④ 訪問介護事業者の集りで意見交換や情報収集が図れた。
安定運営の確保	① ヘルパー会での安全確保に徹したサービスの提供と適切な接遇の学習。 ② 広報活動を行い、新規利用者を獲得、利用者の増加を図る。

2. 苦情処理 苦情処理件数 0件

3. 事故 事故発生件数 0件

## VII. 防災・救命

### 【訓練実施状況】

	想定内容	日付	実施時間	参加者数	内容
総合訓練 (ガリラヤ荘)	震度6強の大地震	6月10日 (日)	13:30 ～ 15:00	利用者 92名 自主防役員 10名 職員 30名	地域自主防災会と合同訓練を実施。全体での避難訓練終了後、レスキューシートの説明及び階段避難訓練。併せて車椅子での階段搬送訓練、簡易担架の使用訓練、小型発電機操作の確認、消火器を使用した消火訓練。
消防訓練 (東温市防災センター)	火災 地震 夜間	7月20日 (金)	17:30 ～ 18:00	職員 14名	消防署員の指導により、消火・地震・煙避難等を体験。
普通救命講習 (I) (ガリラヤ荘)		8月31日 (金)	18:00 ～ 21:00	職員 15名	心肺蘇生法・AEDの使用方法・異物除去法・止血法等を学び、受講者全員、普通救命講習修了証を取得。
シェイクアウト訓練 (ガリラヤ荘)	地震	12月17日 (月)	11:00 ～ 11:15	利用者 125名 職員 40名	愛媛県全体での地震を想定した安全行動をとる訓練を実施。
夜間想定通報訓練 (ガリラヤ荘)	夜間火災	1月25日 (金)	20:00 ～ 21:00	職員 120名	夜間出火想定での火災通報訓練、夜間緊急時連絡表での非常招集訓練を実施。

## VII. 各委員会報告

### 【衛生管理委員会】・・・毎月開催

毎日の朝礼や月1回の委員会等で感染症についての情報提供を行い重ねて意識付けを行うことで、職員各自が感染予防の重要性を理解し、日常的に感染予防を行う理由を理解した上で実施できるようになった。今後も感染症を起こさない施設づくりに取り組む。

えがお大賞投票を実施。また、年1回の「ストレスチェック」の実施により、結果を評価・検討し、職員と家族の心の健康づくり・活気ある職場づくりに取り組んでいく。

### 【褥瘡対策委員会】・・・毎月開催

褥瘡ケアマネジメント加算取得にあたり、褥瘡評価の改定・見直しを実施。委員会を中心に、よりきめ細やかな観察・対策をし、多職種での褥瘡対策に取り組む。また、日常的な予防対策を実施、褥瘡予防の知識を周知する。次年度はノーリフティングケア導入により、入所者の拘縮予防や寝たきりにさせないことでの褥瘡予防にも取り組みたい。

### 【権利擁護・苦情相談委員会】・・・随時開催・ガリラヤ久米と合同（平成30年8月21日）

平成29年度の苦情相談報告（4件）及び事故等の相談報告を行い、第三者委員から、「苦情の内容は2種類あって、スタッフ側のケアの向上のための意見を言われるケースと、他の所に対して言えないうっ憤を発散しているようなケースがあると思われる」「久米の施設のように契約前なのに苦情が出るというケースについては、契約がない状態でも丁寧な対応を行うようにするべきだと考える」との助言を受けた。

#### 平成30年度苦情件数 3件

苦情内容① ・苦情やクレームに対する対応・回答や解決内容を家族全体に公表して欲しい。また、障害者を雇用していることも伝えて欲しい。

対 応 ① ・家族会総会などで周知するようにすることを説明。家族会総会（3月開催）にて報告。

苦情内容② ・入所者との会話中に他入所者からナースコールがあり、入所者の「やかましい、静かにして」等の言葉に対して職員の不適切な言動があり、入所者より苦情があった。

対 応 ② ・状況を確認し、入所者にまず謝罪。対応職員と面談し、不適切発言について注意、指導する。また、朝礼等で伝達し、職員への周知を行った。

苦情内容③ ・家族より、「母に対して、友達言葉（威圧的）のような話し方をするのを聞いていて不愉快だった」との指摘あり。

対 応 ③ ・対応した生活相談員がまず謝罪。対応職員と面談し、入所者に対して尊敬の気持ちを忘れず意識して話をするよう指導する。また、朝礼等で伝達し、職員への周知を行った。

### 【身体拘束廃止委員会・高齢者虐待防止委員会】・・・毎月開催

#### 身体拘束件数 0件 高齢者虐待件数 0件

施設指針や虐待事例の周知、委員会での虐待事例検討を行い、虐待等が起こらない環境づくりに努めた。委員会にて定期チェックを実施。不適切ケアの確認、改善を検討。毎月訪問がある介護相談員からの意見感想も報告・周知。研修人研修の他に全職員対象に年3回実施。

#### 【給食委員会】・・・毎月開催

栄養ケアマネジメントの実施により、利用者の摂食状況や提供方法、献立等について委託業者と検討。「人として最期まで口から食べる」ことに重きをおき、ソフト食・やわらか食を提供。また、便秘対策のため玄米食等を継続実施。今後より一層、味・見た目共に満足していただけるソフト食・やわらか食を含む食事の提供に努める。

#### 【防犯対策】・・・防犯訓練（平成 30 年 12 月 6 日）

松山南警察署署員より不審者対応の方法、さすまたの使用方法等についての研修を実施。

#### 【在宅委員会】・・・毎月開催

在宅部門（居宅介護支援・通所介護・訪問介護・短期入所生活介護事業所）が情報共有や各部署間の連携を図り、地域の支えとなるシステムを構築・強化するべく、具体的な方策を協議。各部署より在宅利用者の困難事例を討議し改善を図った。

おとこ塾は、徐々に参加人数も少なくなり、今後の取り組みについてのアンケートを再度実施。それに伴い新しい参加者が増え、介護疲れを癒すリフレッシュを目的とした会になった。ガリラヤ荘として地域を支えていくために何が必要か？どのような地域貢献できるか？活動の内容や取り組みについて積極的に情報発信し、周知・啓発に努めたい。

#### 【安全（事故発生防止）】

発生件数は、前年度と比較し 300 件近く増加。特にレベルⅠの件数が昨年度より大幅に増加したが、原因として平成 30 年 5 月から、従来のレベルⅠに未遂を含めての報告に作成変更したこともある。レベルⅢ以上は 16 件と前年度の 23 件から減少。病院受診件数は 16 件。年度途中から受診した場合は全て市への報告が必要となり、結果 12 件の市町報告。転倒や骨折を伴う事故発生に、身体状況を見極めた危険予測の大切さや、普段から車椅子等の福祉用具を含む物品の点検・整備を行い、安全な環境づくりに努める重要性を痛切に感じた。今後は環境整備係の配置やノーリフティングケアへの取り組みと連動して福祉用具の適切な使用と管理を行い、再発防止に努めたい。

服薬ミスは、前年度から増加し 34 件。誤薬が 1 件発生。事故発生時に速やかに再発防止策を講じたが、薬が床に落ちていたケースが 22 件見られた。これは服薬できなかったケースと服薬後に吐き出したケースに分かれるが、ユニット内で介助方法の統一が図れていない事例が見られたため、介助方法を再度確認・周知徹底し、服薬ミスゼロを目指す。

重大事故発生予防の年間活動は、毎月の安全委員会内において事例検討を実施。原因分析や予防策について全体への周知に努めた。特に服薬ミスについては重く受け止め、再発防止のため服薬ミスについての事例検討を実施、ユニット内でも服薬ミスを防ぐ方法について再度検討。全体での研修としてはリスクマネジメント研修会を年間で 2 度開催し、KYT（危険予測トレーニング）及び過去の重大事故の振り返りを行った。また、状況報告書やヒヤリハットのデータ分析し、事故の内容・時間帯を報告・周知したことが、注意を促せたのではないかと考える。

1. 月別発生件数

月	特養	短期	総数
4月	56	8	64
5月	76	15	91
6月	83	13	96
7月	92	13	105
8月	81	9	90
9月	84	6	90
10月	74	9	83
11月	70	8	78
12月	89	10	99
1月	65	13	78
2月	59	16	75
3月	45	11	56
計(年)	874	131	1,005

(前年度 719 件)

2. 内容別発生件数

内 容	件数
内出血	491
転落※2	88
傷(擦過傷等)	76
転倒※1	65
転倒未遂	46
表皮剥離	37
服薬ミス	34
転落未遂	29
異食	12
異食未遂	9
食事提供ミス	8
傷剥離	3
対人トラブル	2
対人トラブル未遂	1
誤薬	1
誤嚥	1
打撲	1
その他	101
合 計	1,005

※1 立上りや歩行での転倒

※2 車椅子等からの尻もち座り込み等

2-1 報告レベル内訳

レベ ル	件数
I (ミスをしたまたは異常なし)	855
II (バイタル異常または看護職による処置)	134
III (病院受診)	13
IV (入院加療が必要)	3
V (後遺症が残るあるいは死亡)	0
合 計	1,005

インシデント(ひやり・はっと)レベル  
 アクシデントレベル  
 レベルIII～Vのうち市町事故報告  
 (病院受診の内、4件は異常なし)

2-2 病院受診を行ったケース

内 容	件数	発生率
転倒	9	13.8%
転落	2	2.3%
移乗	2	3.8%
傷	1	1.3%
他	2	2.0%
合 計	16	

(前年度 9件)

3. 発生(発見)場所件数

場 所	件数	発生率
居室	636	63.3%
リビング	175	17.4%
浴室	160	15.9%
脱衣室	6	0.6%
廊下	5	0.5%
他ユニット	3	0.3%
他居室	2	0.2%
その他	18	1.8%
合 計	1,005	

4. 発生(発見)状況件数

場 所	件数	発生率
ベッド上	187	18.6%
排泄(オムツ)	177	17.6%
入浴(個浴)	81	8.0%
車椅子上	80	8.0%
食事	73	7.3%
入浴(特浴)	70	6.9%
移動(歩行)	66	6.6%
排泄(トイレ)	59	5.9%
移乗	52	5.2%
更衣	31	3.1%
椅子	15	1.5%
床	12	1.2%
移動(車椅子)	10	1.0%
移動(遣う)	12	1.2%
排泄(PWC)	9	0.9%
ソファ上	6	0.6%
入浴(チェアイン)	4	0.4%
その他	61	6.0%
合 計	1,005	

2-3 市町事故報告届け出件数

内容	報告日	備 考	
転倒	4/10	床座位(頭部検査、CT検査実施し異常なし。)	特養
転倒	4/29	床座位(右橈骨骨折)	特養
裂傷	6/28	ベッド臥床(裂傷部4針縫合)	特養
転倒	8/23	歩行杖(左肩鎖骨骨折)	短期
移乗	9/16	車椅子座位(左大腿骨遠位端骨折)	特養
転倒	12/7	歩行歩行器(大腿骨にひび)	短期
その他	12/18	ベッド臥床(上脳骨骨折疑い)	特養
転倒	2/6	歩行独歩(左鎖骨骨折)	短期
転落	2/12	車椅子座位(頭部CT検査実施し異常なし)	特養
移乗	2/19	排泄PWC(左上脳頸部骨折)	特養
転倒	3/15	歩行杖(左額内出血、左膈1cm裂傷・異常なしとの診断)	短期
転落	3/20	車椅子座位(左大腿骨転子部骨折)	特養
合 計	12件	(前年度4件)	

Ⅷ. 行事・施設内研修・実習受入の状況			
月	施設内研修等	施設内研修等	実習受入
4	入職式 永眠者記念会	入職者研修(久米合同) キックオフミーティング 基礎介護勉強会(移乗) 排泄研修(梶原先生) 接遇研修 看取り研修	松山城南高校介護実習
5	福祉の仕事1日体験打ち合わせ会 社ノ瀬公園遠足 * 動物園雨天中止 東温市防災訓練	基礎介護勉強会(移乗) 身体拘束・虐待防止研修	
6	花の日訪問(松山東雲短期大学付属幼稚園) 花の日訪問(城南高校) 職員会 防災訓練(南方東自主防災会合同) 東温防火管理連絡協議会	排泄研修(梶原先生) リスクマネジメント研修 メンタルヘルス勉強会(こころ塾) 食中毒勉強会	河原医療福祉専門学校介護実習
7	消防訓練(東温市防災センター)	初任者研修お疲れ様会 基礎介護勉強会(口腔ケア) 排泄研修(梶原先生) 基礎介護勉強会(食事) 重信清流園職員見学 介護機器研修	聖カタリナ大学社会福祉士実習連絡協議会 東温高校介護職員初任者研修 台湾(嘉南薬理大学)学生介護実習 河原医療福祉専門学校介護実習
8	わたきりになら連絡り披露 苦情委員会 しあわせのつどい(国際ホテル) 入所者レントゲン健診 親月祭 川内中学校職場体験(5日間) G H やわらぎ夏祭り	介護職員初任者研修施設見学 普通救命講習Ⅰ 就職説明会	台湾(嘉南薬理大学)学生介護実習 河原医療福祉専門学校介護実習 松山東雲女子大学社会福祉士実習 聖カタリナ大学社会福祉士実習 聖カタリナ大学介護実習
9	東温市長一日施設長就任・赤ちゃんこ贈呈式 職員会 介護ネット意見交換会(芋炊き) 消防設備点検	排泄研修(梶原先生) 福祉用具セミナー メンタルヘルス研修	愛媛大学医学部介護体験 河原医療大学校老年看護学実習 台湾(嘉南薬理大学)学生介護実習 松山城南高校介護実習 松山東雲女子大学社会福祉士実習 聖カタリナ大学社会福祉士実習 聖カタリナ大学介護実習
10	運動会 秋祭(松瀬川獅子舞保存会訪問・森地区特興奉納踊り) 県監査指導 東温市文化祭(出展・見学)	県老協協ボジショニング研修 トータルケア(泉田先生)	愛媛大学(教育学部生)介護体験 愛媛大学医学部看護科老年看護学実習 松山城南高校介護実習 聖カタリナ大学就職説明会
11	不在者投票(県知事選挙) 感謝祭(第6回) 収穫感謝訪問(松山東雲短期大学付属幼稚園) 入所者集団予防接種(インフルエンザ)	認知症勉強会 感染症勉強会 排泄研修(梶原先生)・リーダー研修会 施設見学(うちしるべ松山)	河原医療福祉専門学校介護実習 東温高校インターンシップ 愛媛大学医学部看護科老年看護学実習 松山城南高校介護実習
12	東温市社協共同募金歳末施設訪問 職員会 東温市婦人会歳末訪問・車椅子清掃 シェイクアウトえひめ避難訓練 栄光教会クリスマスキャロル 松山南署防犯訓練	トータルケア勉強会(泉田氏) ノーリフティング研修 勉強会(看取り・理念) サンファイバー研修	
1		勉強会(リスクマネジメント) 排泄研修(梶原先生)	松山城南高校介護実習
2		身体拘束・虐待防止研修 勉強会(入浴) 第4回実践事例発表会	聖カタリナ大学社会福祉士事前見学 聖カタリナ大学介護実習
3	家族会総会 介護相談員合同連絡会 職員会 消防設備点検	医療行為フォローアップ研修 勉強会(口腔ケア) 施設見学・研修(日本経営協会) トータルケア勉強会(泉田氏) ノーリフティング研修(下元先生) 身体拘束・虐待防止研修	聖カタリナ大学介護実習 松山東雲女子大学実習連絡会
その他	通年	委員会等活動	クラブ活動
	毎月・誕生昼食会 おやつ・お茶の時間(毎日) 訪問理容 東温市移動図書館「かぼちやん号」 医師の回診・嘱託医5名 (中川・山本・八木・河野・越智⇒吉田) 往診医6名 (石山・菅野・清水歯科/石川・いづみだ・まえおか眼科) 訪問販売(セブンスターとくし丸・パン2社)	運営委員会 安全(事故発生防止)委員会 衛生管理委員会 身体拘束虐待防止委員会 高齢者虐待防止委員会 給食委員会 権利擁護・苦情相談委員会 在宅委員会 入所判定委員会 デイ定例会	陶芸(隔週水曜)・習字(月1回・第2水曜) 俳句会(第4水曜)・音楽/風船パレード(各エント月1回) 縫布クラブ(第1火曜) ボランティア(その他) 縫布ボラ(第1火曜) 喫茶バーベキュー(特養・デイ隔月) 紙芝居(特養/デイ月1回・SS不定)2月~休止 介護相談員(基本:第1火曜) 山内さん(第3水曜)2月で終了 傾聴"笑顔に会いたい"(第4金曜) トーンチャイムレインボー(季節毎・第2金曜) オカリナそよ風(季節毎・第3火曜)

X.研修の状況【施設外研修】

研修内容	特養・ショート		デイサービス		在支・居宅介護		ホームヘルプ		合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数計	人数計
介護	9	21	1	1	0	0	0	0	10	22
看護・保健・医療	7	7	0	0	2	3	1	1	10	11
防災・防犯	4	4	0	0	3	3	1	1	8	8
人材育成・マネジメント	8	8	1	1	2	2	0	0	11	11
専門(スキル向上・資格等)	4	4	0	0	13	16	2	2	19	22
行政(介護保険・制度他)	5	6	0	0	3	4	1	1	9	11
財務会計	2	2	0	0	0	0	0	0	2	2
人事・労務管理	9	14	0	0	0	0	0	0	9	14
その他	1	1	0	0	2	2	1	1	4	4
小計	49	67	2	2	25	30	6	6	82	105

XI. 職員の状況

(単位：名)

部門等	前年度末	平成30年度当初			平成30年度中の状況			平成30年度末	常勤換算 (年度末雇用契約)
		退職 (30.3.31付)	入職/異動 (30.4.1付)	4月1日現在	入職	異動	退職		
特養+ショート	92	-2	5	95	8	[-3]	-9	91	78.2
(介護職員)	67	-2	5	70	4	[-3、+1]	-7	65	57.1
(看護職員)	8	0	0	8	2	0	-1	9	7.7
(その他)	17	0	0	17	2	[-1]	-1	17	13.4
デイ	14	0	0	14	2	0	-1	15	13.4
支援+居宅	5	0	0	5	1	0	-1	5	5
ヘルパー	10	0	0	10	2	0	-1	11	5.5
計	121	-2	5	124	13	[-3]	-12	122	102.1

・異動( )は施設内異動、【 】は法人内異動を表示

・医師等嘱託契約者の数は上記に含めず

【医師3名、歯科衛生士1名、理学療法士2名(内デイ1名)、作業療法士2名(デイ)】

## Ⅻ. サービス別 利用状況一覧

特別養護老人ホーム 定員80名・8ユニット（1ユニット定員10名）

項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計又は平均	
稼働日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	
総計	平均介護度	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.2	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.13	
	延べ利用人数	2,361	2,424	2,400	2,437	2,462	2,323	2,396	2,360	2,404	2,423	2,227	24,657	
	平均利用人数/1日	78.70	78.19	80.00	78.61	79.42	77.43	77.29	78.67	77.55	78.16	79.54	78.71	78.5
	稼働率	98.4%	97.7%	100.0%	98.3%	99.3%	96.8%	96.6%	98.3%	96.9%	97.7%	99.4%	98.4%	98.15%

前年度 [97.45%]

ショートステイ 定員20名・2ユニット（1ユニット定員10名）

項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計又は平均	
稼働日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	
要介護	利用実人数	32	39	37	35	36	32	38	32	30	31	32	30	33.67
	利用延べ人数計	493	504	533	521	554	546	541	480	535	526	518	533	6,284
	平均介護度	2.65	2.86	3.13	3.12	3.14	3.08	2.75	2.76	2.73	2.73	2.74	2.75	2.87
	平均利用人数/1日	16.43	16.26	17.77	16.81	17.87	18.20	17.45	16.00	17.26	16.97	18.50	17.19	17.23
要支援	利用実人数	1	1	2	2	2	2	2	1	1	1	2	1.58	
	利用延べ人数	3	3	9	12	34	9	2	7	3	7	4	9	102
	平均利用人数/1日	0.10	0.10	0.30	0.39	1.10	0.30	0.06	0.23	0.10	0.23	0.14	0.29	0.28
総計	延べ利用人数	496	507	542	533	588	555	543	487	538	533	522	542	6,386
	平均利用人数/1日	16.53	16.35	18.07	17.19	18.97	18.50	17.52	16.23	17.35	17.19	18.64	17.48	17.5
	稼働率	82.7%	81.8%	90.3%	86.0%	94.8%	92.5%	87.6%	81.2%	86.8%	86.0%	93.2%	87.4%	87.52%

前年度 [16.41]  
前年度 [0.20]  
前年度 [83.05%]

デイサービス 利用定員35名

項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計又は平均	
稼働日数	25	27	26	26	27	25	27	26	25	25	24	26	309	
要介護	利用実人数	60	61	57	60	62	63	65	62	61	62	63	62	
	利用延べ人数	573	621	589	592	632	612	674	654	596	588	602	647	7,380
	平均介護度	2.06	2.07	2.08	2.08	2.08	2.01	2.05	1.98	2.02	1.99	2.00	2.00	2.03
	平均利用人数/1日	22.92	23.00	22.65	22.77	23.41	24.48	24.96	25.15	23.84	23.52	25.08	24.88	23.89
要支援	利用実人数	22	23	20	17	15	12	14	13	13	13	12	12	15.5
	利用延べ人数	117	140	117	100	100	83	97	86	85	82	65	81	1,153
	平均利用人数/1日	4.7	5.19	4.50	3.85	3.70	3.32	3.59	3.31	3.40	3.28	2.71	3.12	4.21
総計	利用延べ人数	690	761	706	692	732	695	771	740	681	670	667	728	8,533
	平均利用人数/1日	27.60	28.19	27.15	26.62	27.11	27.80	28.56	28.46	27.24	26.80	27.79	28.00	27.61
	稼働率	78.9%	80.5%	77.6%	76.0%	77.5%	79.4%	81.6%	81.3%	77.8%	76.6%	79.4%	80.0%	78.88%

前年度 [23.41]  
前年度 [3.94]  
前年度 [79.08%]

居宅介護支援事業所

項目/月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計又は平均	
介護支援専門員数		4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4.0	前年度
要介護	介護 利用人数	108	109	107	117	115	117	120	116	114	114	111	114	113.5	【105.0】
	介護 稼働率	77.1%	77.9%	76.4%	83.6%	82.1%	83.6%	85.7%	82.9%	81.4%	81.4%	79.3%	81.4%	81.1%	前年度
要支援	予防 利用人数	30	29	28	26	26	27	26	25	24	27	26	26	26.7	【30.6】
	予防 稼働率	93.8%	90.6%	87.5%	81.3%	81.3%	84.4%	81.3%	78.1%	75.0%	84.4%	81.3%	81.3%	83.33%	前年度
総計	介護+予防 利用人数	138	138	135	143	141	144	146	141	138	141	137	140	140.2	【135.6】
	介護+予防 稼働率	80.2%	80.2%	78.5%	83.1%	82.0%	83.7%	84.9%	82.0%	80.2%	82.0%	79.7%	81.4%	81.49%	
新規利用人数		7	3	3	7	2	6	6	5	3	4	5	2	4.4	
訪問調査件数		0	6	6	8	6	4	4	4	4	7	6	7	5.2	
営業訪問先		4	4	3	3	3	4	3	3	3	4	4	3	3.4	

訪問介護

項目/月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計又は平均	
要介護	利用実人数	12	14	13	15	15	15	15	13	13	15	12	10	13.5	
	利用延べ訪問件数	317	357	359	384	376	361	394	324	306	284	268	277	4,007	
	平均介護度	2.7	2.6	2.7	2.6	2.5	2.6	2.6	2.6	2.6	2.4	2.3	2.4	2.6	
/ 総合事業 要支援	利用実人数	12	10	11	9	10	9	10	10	9	10	10	9	9.9	
	利用延べ件数	12	10	11	9	10	9	10	10	9	10	10	9	119	
障害	実人数	3	3	3	2	2	2	2	1	2	2	1	1	2.0	
	訪問回数	39	35	40	35	26	19	19	17	21	16	16	18	301	前年度
総計	実人数	27	27	27	26	27	26	27	24	24	27	23	20	25.4	【28.5】
移動支援	実人数	1	1	1	1	1	2	2	1	2	1	1	1	1.3	
	移動支援延べ件数	2	2	2	2	2	2	3	2	3.5	1	2	1	25	





2018年度(平成30年度)  
ガリヤ久米 事業報告

〔事業の種類〕

I. 小規模特別養護老人ホーム(地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護)	定員 29名
II. ショートステイ(〔介護予防〕短期入所生活介護)	定員 10名
III. グループホーム(〔介護予防〕認知症対応型共同生活介護)	定員 18名
IV. 介護付有料老人ホーム(〔介護予防〕特定施設入居者生活介護)	定員 35名(30室)
V. デイサービス(地域密着型通所介護)	定員 15名
VI. デイサービス(介護予防通所サービス)	
VII. 居宅介護支援事業所(居宅介護支援)	

1.ガリヤ久米(全体)

取組事項	取組内容
命と尊厳を守り安心して生活できる施設づくり	① スタッフの基礎介護力を高め、専門職が連携し、統一したケアの提供。 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 内部研修(基礎介護研修)開催 [全16回]</li> <li>■ 運営委員会の開催 [全12回 ※毎月]</li> <li>■ 朝礼(全体)の開催 [月～土]</li> </ul> ② 利用者の人権、プライバシーの保護と共に、虐待防止・身体拘束廃止の徹底。 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 身体拘束・虐待防止委員会開催 [全12回 ※毎月]</li> <li>■ 内部研修(拘束虐待防止)開催 [全2回]</li> </ul> ③ インフルエンザ・ノロウイルス等の感染症予防の徹底(集団発生0件目標に対し発症9件) <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 衛生管理委員会開催 [全12回 ※毎月]</li> <li>■ 内部研修(感染症)開催 [全2回]</li> </ul>
在宅生活の支援	① 地域関係機関と連携し、地域の福祉ニーズを捉えて地域包括ケアを推進。 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 地域包括支援センターとの連携[各種会議・研修参加]</li> </ul> ② 職員の地域活動推進(必要なニーズの調査、支援可能な体制の調整) <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 高齢クラブへの参加 [本村あやめ会]</li> </ul> ③ 在宅生活をトータル的にサポートするために、在宅版総合記録シートを導入した在宅部門の連携。 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 未実施</li> </ul>
広報活動の充実	① ホームページ・SNSによる積極的な情報の配信、施設見学の受入と関係事業所への営業活動。 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ ホームページ・SNS(Twitter・Facebook)の定期更新の実施。Google ストリートビューの活用。</li> <li>■ 施設見学受入対応 [毎日(予約含む)]</li> </ul> ② 地域住民参加イベント企画・ボランティア活動の受入など計画的に実施。 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 出張喫茶の受入[なかよし村]</li> <li>■ ボランティア活動受入[久米中学校、どれみ保育園、高齢クラブ、民間団体等]</li> </ul>
やりがいを感じ働きやすい職場づくり	① ガリヤ久米スタッフ心得の徹底と、職員育成の推進 ② 新規スタッフの離職ゼロを目指し、きめ細やかな面談実施及びフォローアップ体制の整備 <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 内部研修(職員会)開催 [全3回]</li> <li>■ ストレスチェックの実施(8月)NPO ころも塾との従業員支援事業委託の締結</li> <li>■ 人事考課・面談の実施(6月 11月)</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 第2回部門別笑顔大賞投票実施(3月)</li> <li>■ 第4回ガリラヤ実践事例発表会(1月) ※)デイサービス(優秀賞受賞)</li> </ul>
安定運営の確保	<p>① 事業所毎の目標数値設定とコスト(ムリ・ムラ・ムダのない)管理。</p> <p>② 施設運営に関わる財務・組織・事業管理における基盤の整備を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 運営委員会での実績確認及び検討 [全12回]</li> <li>■ 運営会議(ガリラヤ荘:部課長会議)での検討 [全12回]</li> </ul>

2. I .小規模特別養護老人ホーム(地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護)

2.-1 入所者の状況(平成31年3月31日現在)

【入所・退所状況】

待機者数(平成31年3月末現在45名)

入 所			退 所		
男	女	計	男	女	計
3	4	7	2	6	8

【年齢構成】

	男	女	全体
入所者数	7	21	28
平均年齢	86.0	85.1	85.4
最高齢	91	96	-
最年少	80	68	-

【要介護度別人数】

要介護度	男	女	計
1	0	0	0
2	0	2	2
3	1	1	2
4	1	11	12
5	5	7	12
平均	4.57	4.10	4.21

2.-2 医療の状況

【入院状況】

	実人数	延日数
4月	2	25
5月	5	61
6月	5	48
7月	5	76
8月	1	3
9月	1	15
10月	2	15

	実人数	延日数
11月	5	61
12月	2	16
1月	2	20
2月	3	30
3月	4	38
合計	37	408
月平均	3.1	34

【入院疾患別人数(延人数)】

疾患名	今年度	前年度
肺炎	7	5
心疾患	4	3
脳梗塞	3	3
尿路感染	1	1
腸閉塞	3	1
骨折	0	1
食欲不振	3	2
肝機能低下	2	1
腎機能低下	0	1
その他	4	6
合計	27	24

【医療管理状況】

医療行為	今年度	前年度
胃ろう	2	2
在宅酸素療法	1	0
人工肛門	0	0
尿道留置カテーテル	1	1
インシュリン注射	0	0
痰の吸引(常時)	0	0
合計	5	3

※緊急搬送回数 0回 (前年度 0回)

2.-3 ケアの状況<重点目標>

取組事項	取組内容
トータルケアの実践 多職種協働システム	<p>≪全部門≫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「総合記録シート」「介護日誌」「ユニット会議議題書」を活用したケアの実践。</li> <li>■ 多職種協働による「状態確認(ダブルチェック)」と「ケアの方法検討(カンファレンス)」の実践</li> <li>■ シフトマニュアル(オペレーションシート)の作成。平常時の統一した業務内容の明確化を図り、入所者及びユニットの状況変化に応じた体制づくり。</li> <li>■ 多職種連携室の運用により、情報共有の拠点とした、各ミーティング等の実践。</li> </ul>
イベント企画	<p>≪全部門≫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ イベント開催 4月(散歩(桜)) 5月(若葉昼食会) 6月(あじさいドライブ) 7月(七夕づくり(そうめん流し)) 8月(ピアガーデン)(すいか割り) 9月(コスモドライブ) 10月(お月見だんごづくり) 11月(紅葉ドライブ)(クリスマス飾りづくり) 12月(クリスマス会)(カラオケ大会) 1月(新年会) 2月(手作り喫茶) 3月(菜の花ドライブ)</li> </ul>
環境整備	<p>≪全部門≫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 居室担当制・備品整備・環境美化推進</li> </ul>
研修運営	<p>≪全部門≫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 年間計画に基づく各種研修の開催 4月(新人研修)5月(拘束虐待防止)6月(食中毒)(接遇)(法令順守)7月(メンタルヘルス)10月(リスクマネジメント)(拘束虐待防止)(接遇/認知症) 11月(感染症)1月(看取り)2月(リスクマネジメント)(防犯)3月(看取り)</li> <li>基礎介護勉強会の開催 4月(口腔ケア)5月(認知症ケア)6月(食事ケア)11月(認知症)</li> </ul>

2.-4 運営推進会議の状況 ※)グループホームと合同開催

開催日等	内容
第1回 平成30年5月25日 10:00~11:15	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 活動状況報告</li> <li>② 活動状況に関する評価</li> </ul>

出席者 10名 職員 8名	③ 要望、助言等 ④ 事業所の見学
第2回 平成30年8月28日 10:00～11:10 出席者 8名 職員 7名	① 活動状況報告 ② 活動状況に関する評価 ③ 要望、助言等 ④ 高齢者の脱水について
第3回 平成30年11月7日 10:00～11:20 出席者 9名 職員 8名	① 活動状況報告 ② 活動状況に関する評価 ③ 要望、助言等 ④ 認知症の対応について
第4回 平成31年1月22日 10:00～11:30 出席者 7名 職員 7名	① 活動状況報告 ② 活動状況に関する評価 ③ 要望、助言等 ④ 感染症予防について
第5回 平成31年3月22日 10:00～11:00 出席者 7名 職員 7名	① 活動状況報告 ② 活動状況に関する評価 ③ 要望、助言等 ④ デイサービス実践報告

#### 《総評》

目標稼働率 93%に対し 96.1%。総延べ入院(外泊)日数 398 日。

H30年度については、開設後1年の実績を確認する年度として、各取組を実施した。新規採用スタッフが多い中、基本的なケアを丁寧に実践することを意識し、効果的な多職種連携の統一を目指してきた。入所者の状況については、平均要介護度 4.2(年度末)となり、身体的・精神的に重度化傾向の中、健康管理と丁寧なケアに基づく穏やかな暮らしの提供ができるよう、各研修の実施を通して、学びを深めた。また暮らしの中における楽しみや生きがいを目的として各イベントについても、月単位での企画を行うことができた。看取りケアを経験したことで、さらに入所者一人ひとりの暮らし、日々のかかわりの大切さを感じ、次年度に向けてさらに、よりよいケアができるよう目指したい。

### 3. II. ショートステイ(〔介護予防〕短期入所生活介護)

#### 3.-1 利用状況(平成31年3月31日現在)

##### 【利用状況】

延べ人数	男	女	計
予防短期通所	0	140	140
短期通所	841	1829	2670
合計	841	1969	2810
平均利用者数	2.3	5.4	7.7

実人数	男	女	計
石井・浮穴	3	5	8
小野・久米	8	10	18

桑原・道後	1	3	4
生石・味生	0	2	2
味酒・清水	-	1	1
雄郡・新玉	-	2	2
垣生・余土	-	1	1
東拓南	1	4	5
東温市	2	5	7
松前町	1	-	1
砥部町	1	-	1
合計	703	1270	1973

【要介護度別延べ人数】

要介護度	男	女	計
要支援 1	0	14	14
要支援 2	0	126	126
要介護 1	320	340	660
2	196	245	441
3	95	241	336
4	138	579	717
5	92	424	516
平均	2.4	3.1	2.9

《総評》

目標稼働率 85%に対し 77.0%。一日の平均利用者 7.7 名

在宅介護者のニーズに応えられるよう、利用スケジュール管理と、他事業所との情報共有に努めながら、サービス提供に努めることができた。ただし 10 床の中、急なキャンセルや、また利用日数の調整が難しい場合もあり、新規利用者、また緊急的な利用受入調整については今後の課題である。

4.Ⅲ.グループホーム（〔介護予防〕認知症対応型共同生活介護）

4.-1 入居者の状況（平成 31 年 3 月 31 日現在）

【入居・退居状況】

待機者数（平成 31 年 3 月末現在 28 名）

入 所			退 所		
男	女	計	男	女	計
2	1	3	3	0	3

【年齢構成】

	男	女	全体
入居者数	5	13	18
平均年齢	83.6	90.9	88.9
最高齢	88	97	-

最年少	72	86	-
-----	----	----	---

【要介護度別人数】

要介護度	男	女	計
1	0	4	4
2	3	2	5
3	2	5	7
4	0	1	1
5	0	1	1
平均	2.4	2.46	2.44

4.-2 医療の状況

【入院状況】

	実人数	延日数
4月	4	34
5月	1	18
6月	0	0
7月	0	0
8月	0	0
9月	1	14
10月	1	5

	実人数	延日数
11月	2	37
12月	0	0
1月	0	0
2月	1	23
3月	3	30
合計	13	161
月平均	1	13.4

【入院疾患別人数(延人数)】

疾患名	今年度	前年度
肺炎	5	1
心疾患	2	1
脳梗塞	1	1
腎機能低下	0	1
骨折	0	1
その他	3	3
合計	11	8

※緊急搬送回数 0回 (前年度 0回)

4.-3 ケアの状況《重点目標》

取組事項	取組内容
トータルケアの実践 多職種協働システム	<p>《全部門》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「総合記録シート」「介護日誌」「ユニット会議議題書」を活用したケアの実践。</li> <li>■ シフトマニュアル(オペレーションシート)の作成。平常時の統一した業務内容の明確化を図り、入所者及びユニットの状況変化に応じた体制づくり。</li> <li>■ ケアスタッフと看護師との連携による重度化対応。</li> </ul>

イベント企画	<p>《全部門》</p> <p>■ イベント開催 4月(花見ドライブ) 5月(カラオケ大会、こいのぼりづくり) 6月(あじさいドライブ) 7月(七夕飾りづくり、そうめん流し) 8月(夏祭り、花火鑑賞) 9月(コスモドライブ) 10月(運動会) 11月(菊見物) 12月(忘年会、クリスマス会) 1月(初詣、新年茶会) 2月(豆まき) 3月(ひなまつり)</p>
環境整備	<p>《全部門》</p> <p>■ 居室担当制・備品整備・環境美化推進</p>
研修運営	<p>《全部門》</p> <p>■ 年間計画に基づく各種研修の開催 4月(新人研修)5月(拘束虐待防止)6月(食中毒)(接遇)(法令順守)7月(メンタルヘルス)10月(リスクマネジメント)(拘束虐待防止)(接遇/認知症)11月(感染症)1月(看取り)2月(リスクマネジメント)(防犯)3月(看取り)</p> <p>■ 基礎介護勉強会の開催 4月(口腔ケア)5月(認知症ケア)6月(食事ケア)11月(認知症)</p>

4-4 運営推進会議の状況 ※)小規模特別養護老人ホームと合同開催

開催日等	内容
<p>第1回</p> <p>平成30年5月25日 10:00～11:15</p> <p>出席者 10名 職員 8名</p>	<p>⑤ 活動状況報告</p> <p>⑥ 活動状況に関する評価</p> <p>⑦ 要望、助言等</p> <p>⑧ 事業所の見学</p>
<p>第2回</p> <p>平成30年8月28日 10:00～11:10</p> <p>出席者 8名 職員 7名</p>	<p>⑤ 活動状況報告</p> <p>⑥ 活動状況に関する評価</p> <p>⑦ 要望、助言等高齢者の脱水について</p>
<p>第3回</p> <p>平成30年11月7日 10:00～11:20</p> <p>出席者 9名 職員 8名</p>	<p>⑤ 活動状況報告</p> <p>⑥ 活動状況に関する評価</p> <p>⑦ 要望、助言等</p> <p>⑧ 認知症の対応について</p>
<p>第4回</p> <p>平成31年1月22日 10:00～11:30</p> <p>出席者 7名 職員 7名</p>	<p>⑤ 活動状況報告</p> <p>⑥ 活動状況に関する評価</p> <p>⑦ 要望、助言等</p> <p>⑧ 感染症予防について</p>
<p>第5回</p> <p>平成31年3月22日 10:00～11:00</p> <p>出席者 7名 職員 7名</p>	<p>⑤ 活動状況報告</p> <p>⑥ 活動状況に関する評価</p> <p>⑦ 要望、助言等</p> <p>⑧ デイサービス実践報告</p>

《総評》

目標稼働率94%に対し97.7%。総延べ入院(外泊)日数152日。

H30年度については、開設後1年の実績を確認する年度として、各取組を実施した。新規採用スタッフが多い中、基本的なケアを丁寧に実践することを意識し、効果的な多職種連携の統一を目指してきた。入所者の状況については、平均要介護度2.4(年度末)と軽度な方中心であるが、平均年齢88.9歳と高齢であり、健康管理と丁寧なケアの実践を通して、重度化予防に努めてきた。また暮らしの中での楽しみや生きがいづくりとして、日々の活動やイベント企画を実践できた。今後は個別支援を充実できるよう、家族



の協力も得られる働きかけに工夫し、その人らしい暮らしの提供を目指したい。また重度化対応や看取りについても、適切な対応ができるようスタッフの知識・技術の向上に努めていきたい。

#### 5.IV.介護付有料老人ホーム((介護予防)特定施設入居者生活介護)

##### 5.-1 入居者の状況(平成31年3月31日現在)

【入居・退居状況】 待機者数(平成31年3月末現在 単身21名 夫婦14名 計35名)

出身地 保険者	保険者別入居者数			平成29年度中の移動状況					
				入居			退居		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
松山市	5	12	17	5	12	17	0	0	0
東温市	0	5	5	1	5	6	1	0	1
砥部町	0	1	1	0	1	1	0	0	0
伊予市	0	1	1	0	1	1	0	0	0
西条市	2	1	3	2	1	3	0	0	0
新居浜市	1	0	1	1	0	1	0	0	0
宇和島市	0	1	1	0	1	1	0	0	0
松前町	1	0	1	1	0	1	0	0	0
福津市	0	1	1	0	1	1	0	0	0
合計	9	22	31	10	22	32	1	0	1

##### 【年齢構成】

	男	女	全体
入所者数	9	22	31
平均年齢	90	88.1	88.6
最高齢	97	97	-
最年少	85	77	-

##### 【要介護度別人数】

要介護度	男	女	計
自立	0	0	0
要支援1	1	4	5
要支援2	1	3	4
要介護1	4	7	11
2	1	4	5
3	0	2	2
4	1	1	2
5	1	1	2
平均	2.14	2	2.04

5.-2 医療の状況

【入院状況】

	実人数	延日数
4月	6	66
5月	4	65
6月	4	48
7月	7	56
8月	3	44
9月	3	38
10月	0	0

	実人数	延日数
11月	2	39
12月	5	87
1月	3	60
2月	3	53
3月	2	41
合計	33	531
月平均	2.75	44.25

【入院疾患別人数(延人数)】

疾患名	今年度	前年度
肺炎	4	1
心疾患	8	2
腎盂腎炎	0	2
骨折	3	2
胃潰瘍・胃腸炎	0	2
脳出血	1	0
その他(癌含)	8	6
合計	24	15

【医療管理状況】

医療行為	今年度	前年度
胃ろう	0	0
在宅酸素療法	2	1
人工肛門	1	1
尿道留置カテーテル	1	1
インシュリン注射	1	1
痰の吸引(常時)	0	0
合計	5	4

緊急搬送回数 0回 (前年度 1回)

5.-3 ケアの状況<重点目標>

取組事項	取組内容
トータルケアの実践 多職種協働システム	<p>《全部門》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「総合記録シート」「介護日誌」「ユニット会議議題書」を活用したケアの実践。</li> <li>■ シフトマニュアル(オペレーションシート)の作成。平常時の統一した業務内容の明確化を図り、入所者及びユニットの状況変化に応じた体制づくり。</li> <li>■ ケアスタッフと看護師との連携による重度化対応の基盤整備</li> </ul>
イベント企画	<p>《全部門》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ イベント開催 4月(お花見弁当:屋上)(いちご狩り:東温市) 5月(こいのぼりドライブ:東温市)(外食:はま寿司) 6月(あじさい見物:花きセンター) 7月(そうめん流し)(盆踊り:久米地区) 8月(七夕レクリエーション)(しあわせの集い:国際ホテル)(観月祭花火鑑賞:屋上) 9月(敬老会)(敬老会参加:愛隣こども園)(森松観月祭花火鑑賞:屋上) 10月(芋炊き)(ミニ運動会)(コスモドライブ)(釣り外出) 11月(バザー参加:真光園)(ていれぎ祭り参加:ていれぎ荘)(ガリラヤ感謝祭参加:ガリラヤ荘)(菊見物:はばたき園)(紅葉ドライブ:石手川ダム)(芋ほり) 12月(忘年会)(クリスマス会)(おやつ作り)(餅つき) 1月(初詣:椿神社)(新年会) 2月(梅見物:七折) 3月(菜の花見物:東温市)</li> <li>■ 散歩・ショッピング(定期)、誕生会(毎月)</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ ボランティア受入(喫茶・音楽・ハーブ・踊り・フォークダンス)</li> </ul>
環境整備	<全部門> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 居室担当制・備品整備・環境美化推進</li> </ul>
研修運営	<全部門> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 年間計画に基づく各種研修の開催 4月(新人研修)5月(拘束虐待防止)6月(食中毒)(接遇)(法令順守)7月(メンタルヘルス)10月(リスクマネジメント)(拘束虐待防止)(接遇/認知症)11月(感染症)1月(看取り)2月(リスクマネジメント)(防犯)3月(看取り)</li> <li>基礎介護勉強会の開催 4月(口腔ケア)5月(認知症ケア)6月(食事ケア)11月(認知症)</li> </ul>

<総評>

目標稼働率 91%に対し 85.8%。総延べ入院(外泊)日数 615 日。

H30 年度については、開設後 1 年の実績を確認する年度として、各取組を実施した。新規採用スタッフが多い中、基本的なケアを丁寧に実践することを意識し、効果的な多職種連携の統一を目指してきた。入所者の状況については、平均要介護度 2.0(年度末)と開設時から上がっており、入居者の要支援・要介護状況について変化が見られている。年間通して、退居者は 1 名であることから、少しずつではあるが、入居後の介助が必要な場面が増えている結果である。今後重度化を予防できるアプローチを見直すことが課題であり、また健康管理と丁寧なケアに努めることで、身体的・精神的な変化の早期発見と対応を目指したい。さらには充実した暮らしの提供、生きがいづくりとして、外出支援や各イベント企画についても、季節に合わせた取り組みや、個別支援を引き続き実践できるよう目指していきたい。

6. V. デイサービス(地域密着型通所介護)

VI. デイサービス(介護予防通所サービス)

6.-1 利用者の状況(平成 31 年 3 月 31 日現在)

【利用状況】稼働日数 312 日

延べ人数	男	女	計
地域密着通所	634	2105	2,739
介護予防通所	111	686	797
	745	2,791	3,536
平均利用者数	2.5	8.8	11.3

登録者人数	男	女	計
石井・久谷	3(4)	8(10)	11(14)
小野・久米	3	14(15)	17(15)
桑原・道後	1	2(4)	3(4)
城西勝山	1	1	2
東拓南	1	3(4)	4(4)
合計	9(10)	28(34)	37(44)

※) ( ) …中止者を含む

【要介護度別延べ人数】

要介護度	男	女	計

事業対象	0	0	0
要支援 1	9	358	367
要支援 2	102	328	430
要介護 1	235	889	1119
2	111	650	761
3	127	228	360
4	161	338	499
5	0	0	0
平均	2.1	1.6	1.6

6.-2 ケアの状況<重点目標>

取組事項	取組内容
個別ケアの実施	<p>① 居宅生活アセスメント及び体力測定を実施し情報の共有を行い、きめ細かなサービスを目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 体力測定の実施し、結果の報告(家族及びケアマネジャー)</li> <li>■ 体力測定結果に合わせた、マシントレーニングの見直し</li> </ul> <p>② HOL(happiness of life)の提供を目指して、クラブ活動等アクティビティの充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 参加型レクリエーションの実施</li> </ul> <p>③ マシントレーニングを含む個別機能訓練を充実させ、利用者の在宅生活継続と身体機能の維持を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 利用者の状態・状況に合わせたマシントレーニングメニューの設定</li> <li>■ トレーニング成果の報告(見える化)による継続の働きかけ</li> </ul>
地域との交流	<p>① 地域と連携し、地域包括ケアの促進を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 地域連絡会への参加</li> </ul> <p>② ボランティアの受入れや地域(保育園・学校等)、家族との交流を増やす。</p> <p>③ 地域との交流を行い、地域の行事等へ積極的に参加する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 久米中学校職場研修受入。どれみ保育園園児との交流活動の実施</li> <li>■ 秋祭り(神輿・獅子舞)施設訪問参加</li> </ul>
職員研修	<p>① 総合事業の研修への参加、及び事業所内での勉強会の充実を図る。</p> <p>② 施設内・外研修に参加し、基礎介護とサービスの質の向上を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 市主催の説明会への参加</li> <li>■ 年間計画に基づく各種研修の開催 4月(新人研修)5月(拘束虐待防止)6月(食中毒)(接遇)(法令順守)7月(メンタルヘルス)10月(リスクマネジメント)(拘束虐待防止)(接遇/認知症)11月(感染症)1月(看取り)2月(リスクマネジメント)(防犯)3月(看取り)</li> <li>■ 基礎介護勉強会の開催 4月(口腔ケア)5月(認知症ケア)6月(食事ケア)11月(認知症)</li> </ul> <p>③ 職員の適材適所を図り、職務分担を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ オペレーションシートに基づく業務分担の実施</li> </ul>
安定運営の確保	<p>① 毎月の実績に関心を持ち、車両管理等のコスト意識を高める。</p> <p>③ 安定した運営のために、管理及びコスト意識をもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ デイサービス会議(毎月実施)での現況報告及び検討</li> </ul> <p>② 介護支援専門員と連携し、広報活動を行い新規利用者の発掘を行う。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 各事業所ケアマネジャーとの情報共有</li> <li>■ 地域包括支援センターとの連携</li> </ul>
--	---

### 6-3 運営推進会議の状況

開催日等	内容
第1回 平成30年8月28日 11:20～11:40 出席者 3名 職員 3名	① 活動状況報告 ② 活動状況に関する評価 ③ 要望、助言等 ④ レクリエーション活動実施報告
第2回 平成31年3月22日 11:00～11:30 出席者 6名 職員 2名	① 活動状況報告 ② 活動状況に関する評価 ③ 要望、助言等 ④ 運動実地による改善例報告

### 6-4 その他の状況

内容		備考
苦情解決件数	0	
事故報告件数	0	事故ではないが、救急搬送2件あり。
ヒヤリハット件数	9	

### 《総評》

新規利用者獲得、また継続のため各事業所への定期的な情報発信・情報共有を積極的に行い、体験者・新規利用者獲得を実施することができた。また利用開始後は、利用者の運動機能を把握するために、体力測定を定期的を実施し、意欲向上につながる報告への工夫や継続してトレーニングできる環境づくりに努めることができた。レクリエーション活動もマンネリ化をしないように努め、利用継続につながるよう、レクリエーションカレンダーの変更を行った。今後も地域への情報発信を継続しながら、楽しさや元気につながるサービスの実践に努めていきたい。

## 7. VII. 居宅介護支援事業所(居宅介護支援)

### 7-1 利用者の状況(平成31年3月31日現在)

【利用状況】 居宅サービス担当月間人数 予防 13件 介護 18件 暫定利用 2件

利用者	予防		介護	
	男	女	男	女
小野・久米	3	6	2	5
東・拓南	0	0	0	0
石井・久谷	0	1	1	1
桑原・道後	0	0	0	1
城西・勝山	0	2	0	3
西	0	0	0	1
北条	0	0	0	1
東温市	0	0	0	2
伊予市	1	0	0	1

計	4	9	3	15
	13		18	

【要介護度別利用人数】

要介護度	男	女	計
要支援 1	1	7	8
要支援 2	2	3	5
要介護 1	0	8	8
2	0	4	4
3	1	1	2
4	2	1	3
5	0	1	1
計	6	25	31

7.-2 ケアの状況《重点目標》

取組事項	取組内容
在宅生活の維持	<p>① 在宅版総合記録シートやアセスメント表を活用し、自宅で安心して生活できるためのトータルケアを、サービス事業所と協働して行う。</p> <p>② 総合事業を理解し、住民主体で生きがいや役割を持った生活が送れるようマネジメントを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ アセスメントシートを活用した服薬状況・副作用・身体状況・認知症状況の理解とサービス事業への情報共有と支援の実施</li> </ul> <p>③ 地域包括支援センター等が主催する勉強会や地域活動の情報を収集し、社会資源を取り入れたマネジメントを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 地域包括支援センターによる勉強会への参加</li> <li>■ 地域医療機関による勉強会への参加</li> </ul>
資質向上	<p>① 事業所内・外の研修に参加し、基礎介護やマネジメント等の在宅生活に必要な知識向上を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 年間計画に基づく各種研修の開催 4月(新人研修)5月(拘束虐待防止)6月(食中毒)(接遇)(法令順守)7月(メンタルヘルス)10月(リスクマネジメント)(拘束虐待防止)(接遇/認知症)11月(感染症)1月(看取り)2月(リスクマネジメント)(防犯)3月(看取り)</li> <li>■ 基礎介護勉強会の開催 4月(口腔ケア)5月(認知症ケア)6月(食事ケア)11月(認知症)</li> </ul> <p>② 総合支援事業に円滑に移行できるよう情報収集をするとともに、地域に必要なサービスの提案を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 地域包括支援センター、社会福祉協議会、各医療機関主催の勉強会への参加</li> </ul> <p>③ 主任介護支援専門員研修の受講</p>
地域活動への参加	<p>① 地域連携を考える会に参加(毎月)</p> <p>久米地区ケア会議の運営に参加 小野・久米地区勉強会運営に参加「司会進行」</p> <p>② 南江戸老人クラブ 介護保険・施設入所の説明(2月)</p> <p>③ 利用者・利用家族 茶話会の開催(10月)</p> <p>④ 勉強会や研修会等の市内関係機関の活動へ積極的に参加し、地域包括ケアの促進を図る。</p>

### 7.-3 その他の状況

内容		備考
苦情解決件数	0	
事故報告件数	0	

#### 《総評》

開設以降、新規の相談が少しずつ増えてきているが、目標達成には至らなかった。

介護保険窓口の機能として包括支援センターと連携を取り、また積極的に地域へ情報発信することで、地域の特性を理解し、利用人数の増加に努めたい。主任介護支援専門員を取得したことで、今後は地域の主任ケアマネ活動に参加し積極的な意見交換や資質の向上に努めたい。また包括支援センターや医療機関主催の会議、研修等に積極的に参加し事業所間の連携強化に努めていきたい。

### 8.各部門報告(委員会活動を含む)

#### 8.-1 防災・防犯活動

訓練項目	開催日時	参加者	内容
消防訓練 ・火災	H30年10月30日 10:00～11:30	松山市南消防署東部支所、利用者、職員	松山市南消防署東部支署職員来荘し打合せ実施。入居者、利用者、職員全員参加にて、厨房火災想定した避難訓練を実施、屋外にて消火訓練を実施した。合わせて、屋内にて火災表示機、通報装置、屋内消火栓などの操作・使用方法を消防署より説明及び、訓練講評を受けた。
総合訓練 (シェイクアウトえひめ参加) ・地震 ・火災 ・水害	H30年12月17日 11:00～12:00	利用者、職員	シェイクアウトえひめに参加、全館放送にて在館者が一斉に安全確保行動「低い姿勢・頭も守り・動かない」を1分間実施。消火器・散水栓の設置場所、使用方法の再確認を実施。 床上浸水が発生したと想定し、避難誘導及び物資の移動訓練を実施。 中予地区老人福祉施設協議会会員施設にて、災害発生伝達訓練を実施(施設長)
夜間通報訓練 ・夜間災害	H30年12月17日 20:00～20:30	職員	夜間火災想定での通報及び非常招集訓練の実施。
防犯訓練	H31年2月6日 14:00～14:40	松山南警察署 職員	防犯に関する講和、不審者への対応、通報の方法、さすまたの使用方法

#### 8.-2 感染症対策

##### ① 衛生管理委員会の開催(毎月)

朝礼や、定期的な委員会内において、感染症の動向および注意喚起について情報提供を行い、また研修での感染予防の意識付けを実施し、日常的な予防策を継続することができた。しかしながら、介護付有料でのインフルエンザの感染が見られ重大な拡大は予防できたが、課題が残る。

職員メンタルヘルスについては、ストレスチェックの実施、結果を評価・検討し職員と家族の心の健康づくり・活気ある職場づくりの推進を継続する。

## ② 感染症報告

### <インフルエンザ>

ショートステイ 1 名は家族からの感染により発症がみられたが、居室隔離により拡大なく終息した。

デイサービスについては、職員 2 名の発症があったが、利用者への感染は発生していない。

介護付有料については、職員 1 名の発症後、利用者 3 名と職員 1 名への発症がみられ、初発感染からの関連性が高く、特養職員 1 名の発症についても、関連が疑われた結果となった。

インフルエンザ発症中は、臨時衛生管理委員会を開き、現状の把握と共に、感染を広げないために、消毒を徹底し、定時の換気等予防策に努めた。また協力医と相談し、濃厚接触の恐れのあるスタッフへのタミフル予防投与を実施した。

以降の感染拡大はみられず、終息することができた。

	利用者					職員				
	GH	特養	SS	有料	他	GH	特養	SS	有料	他
A 型	0	0	1	3	0	0	1	0	2	2
B 型	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	1	3	0	0	1	0	2	2

※GH(グループホーム) SS(短期入所)

### <その他>

ノロウイルス等、その他の感染症発生なし。

汚物処理方法の統一や日頃の標準的予防策の励行により、感染予防への意識が浸透、感染予防の徹底が図られている。

### <まとめ>

感染対策として、インフルエンザが全国的にも拡大があり、県内においても全域の警報レベルが続いた。施設として、各エリアの消毒・予防用の設備を見直し、噴霧器による常時消毒や、加湿器における湿度管理など、結果から非常に効果があったと考えている。また訪問来客者への注意喚起として、警報情報を掲示し、面会時等のうがい手洗いを含めた施設での対応についての理解に努めることができた。

施設としては、9 名(うち 6 名が施設内感染関連)の感染者がみられた。初期対応や感染拡大防止策への意識に対して、課題も残り、指導方法や統一方法に対して、次年度への改善に努めていきたい。

## 8.-3 褥瘡対策

### ① 褥瘡対策委員会の開催(毎月)

毎月入所・入居者の褥瘡発生予備軍を抽出し対応を検討している。

表皮剥離などステージが軽い時期に早期の対応を行うことで、重症化することなく治癒できている。また個人の肌質にあった保湿に努めながら、症状改善に至らない場合は病院受診を行っている。

## 8.-4 権利擁護・苦情解決

### ① 権利擁護苦情相談委員会の開催(随時)※平成 30 年 8 月 21 日(ガリヤ荘合同)

平成 30 年度苦情件数 0 件

※意見箱(玄関) 1 件「全自動型の洗濯機を設置してもらいたい」



### 8.-5 身体拘束・高齢者虐待対策

#### ① 身体拘束廃止・高齢者虐待防止委員会の開催(毎月)

身体拘束件数 0件 高齢者虐待件数 0件

毎月不適切ケア等の事例検討を行い、また各事業所での自己点検チェックをすることで、虐待等に繋がらない環境づくりや意識付けをすることができた。

### 8.-6 栄養対策

#### ① 給食委員会の開催(毎月)

施設長、各事業所職員、多職種、委託業者が給食内容・衛生管理・栄養管理等について協議し、改善及び向上を図った。一人ひとりの身体状態や嗜好を考慮した個別対応を行い、季節感のある食材や行事食を取り入れ、利用者により一層満足していただけの食事提供に努めていきたい。

### 8.-7 事故対策

#### ① 安全委員会の開催(毎月)

委員会内においてヒヤリハットや事故の事例検討を行いながら、ケア方法の見直しや環境整備の配慮に努めた。入所・入居者の状態・状況が事業所によって異なる中、それぞれにおいて重点的に注意すべきことに変化があり、今後も事例検討を重ねながら、重大事故を未然に防げるように努めたい。

#### ② 事故・ヒヤリハット報告

今年度について、記録用紙及び区分変更を行い、11月までの集計と、それ以降について再度見直しを行い、12月以降新区分へ変更しているため、集計結果を分けて報告とする。

区分変更として、4月～11月は事故発生件数として、市への報告を行ったもののみ。12月～3月について、ヒヤリハットを除くすべての事故報告を行ったものとした。

I 月別発生件数(事業所別)

月	グループホーム	小規模特養	短期入所	介護付有料	計
4月	0	1	0	2	3
5月	3	0	0	0	3
6月	1	2	0	0	3
7月	0	0	2	1	1
8月	0	0	0	0	0
9月	0	0	0	0	0
10月	0	2	0	2	4
11月	1	2	0	1	4
12月	7	1	1	5	14
1月	12	2	1	8	23
2月	5	2	5	6	18
3月	5	1	4	13	23
計(4-11月)	5	7	0	6	18
計(12-3月)	29	6	11	32	78
総計	34	13	11	38	96

## II 内容別発生件数

	4月-11月	12月-3月	計
転倒※1)	6	28	34
転落※2)	5	12	17
内出血	2	5	7
服薬ミス	2	22	24
他※3)	1	1	2
傷	1	2	3
対人トラブル	0	2	2
表皮剥離	1	3	4
離脱	0	1	1
食事提供ミス	0	0	0
異食	0	1	1
誤嚥	0	1	1
総計	18	78	96

※1) 立上りや歩行での転倒

※2) 車椅子、椅子、ベッドなどからのしりもち、座り込みを含む

※3) 原因が特定されない軽症や事故危険があったものを含む

## III 報告レベルの内訳

5月～11月(旧集計※ヒヤリハット除く、市への事故報告を行ったもの)

I	バイタル異常・看護師の処置	4
II	病院受診(異常なし)	7
III	病院受診(再受診必要)	5
IV	病院受診(入院加療が必要)	1
V	後遺症が残るあるいは死亡	1
総計		18

12月～3月(新集計※ヒヤリハット除く、すべての事故報告)

I	未遂以外の事故(怪我なし) バイタル異常・看護師の処置	76
II	病院受診(異常なし)	1
III	病院受診(怪我あり)(再受診必要)	1
IV	病院受診(入院加療が必要)	0
V	後遺症が残るあるいは死亡	0
総計		78

「ヒヤリハット件数」12月～3月

	4月-11月	12月-3月	計
転倒（未遂）	123	25	148
転落（未遂）	46	4	50
服薬ミス（未遂）	15	15	30
食事提供ミス（未遂）	0	1	1
異食（未遂）	6	2	8
在宅酸素ミス（未遂）	1	0	1
対人トラブル（未遂）	13	2	15
誤嚥（未遂）	0	0	0
胃チューブ抜去（未遂）	0	0	0
設備・環境の不具合	2	1	3
他	157	66	223
総計	363	116	479

事業所別	転倒 (未遂)		転落 (未遂)		服薬 (未遂)		食事提供 ミス(未遂)		異食 (未遂)		在宅酸素 ミス(未遂)		対人トラブ ル(未遂)	
	旧	新	旧	新	旧	新	旧	新	旧	新	旧	新	旧	新
小規模特養	2	1	4	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0
ショートステイ	3	0	2	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0
グループホーム	55	19	23	1	6	5	0	0	5	2	0	0	11	2
介護付有料	63	5	17	2	7	8	0	0	1	0	1	0	1	0
総計	123	25	46	4	15	15	0	1	6	2	1	0	13	2

事業所別	誤嚥 (未遂)		胃チューブ 抜去(未遂)		設備環境 の不具合		他		
	旧	新	旧	新	旧	新	旧	新	
小規模特養	0	0	0	0	0	0	122	55	187
ショートステイ	0	0	0	0	1	0	8	1	19
グループホーム	0	0	0	0	1	1	10	4	145
介護付有料	0	0	0	0	0	0	17	6	128
総計	0	0	0	0	2	1	157	66	479

IV受診及び市事故報告提出の内訳

事業所	内容	受診	市報告		
介護付有料	4/1 他	4/2	4/3	腰椎圧迫骨折(原因不明)	経過観察
特養	4/21 転倒	4/21	4/22	たんこぶ	異常なし
介護付有料	4/21 転倒	4/21	4/24	脳出血・右頬内出血	入院

グループホーム	5/12 転倒	5/14	5/16	右後頭部打撲	異常なし
グループホーム	5/18 転落	5/19	5/21	右脛内出血	異常なし
グループホーム	5/24 他	5/24	5/27	額・左脛内出血(原因不明)	異常なし
グループホーム	6/17 転倒	6/18	6/18	頭頂部腫脹	異常なし
特養	6/30 転落	6/30	7/4	額・左脛内出血、表皮剥離	異常なし
介護付有料	7/13 転倒	7/13	7/17	左前額部打撲、左上頭部擦過傷	異常なし
特養	10/5 転落	10/6	10/8	右足痛	異常なし
特養	10/12 転落	10/12	10/5	後頭部内出血、腫脹	異常なし
介護付有料	10/14 服薬ミス	-	10/16	異常なし	異常なし
介護付有料	10/21 服薬ミス	-	10/22	異常なし	異常なし
特養	11/9 他	11/11	11/14	右腰内出血、腰椎圧迫骨折	経過観察
介護付有料	11/12 転倒	11/12	11/13	右大腿骨近位部骨折	入院
グループホーム	11/26 転落	11/27	11/28	後頭部擦過傷、腫脹	異常なし
介護付有料	12/2 服薬ミス	-	12/3	異常なし	異常なし
ショートステイ	2/2 他	2/3	2/3	左手首骨折(原因不明)	経過観察
ショートステイ	2/25 服薬ミス	-	2/27	異常なし	異常なし
ショートステイ	2/25 服薬ミス	-	2/27	異常なし	異常なし
ショートステイ	2/25 服薬ミス	-	2/27	異常なし	異常なし
ショートステイ	2/25 服薬ミス	-	2/27	異常なし	異常なし
特養	3/10 転落	3/11	3/12	異常なし	異常なし

※) 管轄の松山市については、介護事故報告は受診したものの全てについて提出指示

※) 事業所判断で、受診はしていないが、報告した内容を含む(原因不明による怪我、服薬ミスなど)

	受診件数	市報告件数
グループホーム	5	5
小規模特養	6	6
ショートステイ	1	5
介護付有料	4	7
総計	16	23

(考察)

H29年度の介護保険課より事故報告区分の変更指示に伴い、見直しを行ったが、再度、事故報告区分とヒヤリハット区分の見直しについて、指示を受けたことで、集計について変更している。※) I月別発生件数参照。

重大事故発生に努めきたが、全体的に転倒・転落による受診が多く、特にグループホーム、介護付有料においては独歩者の発生に注意が必要であった。また服薬ミスが発生しており、服薬マニュアルの再確認及び、管理方法の見直しを行った。

次年度に向けては、ヒヤリハットの対策及び、重大事故つながるケースの再確認の徹底に努めていきたい。

9.行事・施設内研修・実習等受入の状況

	全体行事等	各事業所行事	実習等受入
4	入職式 建物1年点検	[有]いちご狩り [GH]花見 [特]花見散歩	
5	建物修繕 消防設備点検 町内清掃(久米地区) 運営推進会議	[有]こいのぼり見物 [有]外食(はま寿司) [GH]カラオケ大会 [GH]こいのぼりづくり	
6	職員会 夏期人事考課	[有]あじさい見物 [GH]あじさい見物 [特]あじさい見物	
7	入居者レントゲン検査	[有]そうめん流し [GH]七夕飾りづくり [GH]そうめん流し [特]七夕飾りづくり [特]そうめん流し	河原医療福祉専門学校(ガリラヤ荘実習生1日体験)
8	北窪田地区夏祭り 東温市観月祭花火鑑賞 運営推進会議	[有]しあわせの集い [GH]夏まつり [特]ビアガーデン [特]すいか割り	聖カタリナ大学(ガリラヤ荘実習生1日体験) 東雲女子大学(ガリラヤ荘実習生1日体験)
9		[有]敬老会 [有]愛隣こども園敬老会 [有]森松観月祭花火鑑賞 [GH]コスモス見物 [特]コスモス見物	嘉南薬理大学(台湾)(ガリラヤ荘実習生1日体験)
10	北側駐車場増設工事 秋祭り神輿展示 秋祭り(神輿・獅子舞)訪問 ガリラヤ荘運動会 職員互助会合同親睦会 防災総合訓練 地域交流(茶話会) 職員会	[有]ミニ運動会 [有]コスモス見物 [有・特]釣り外出 [GH]運動会	
11	ガリラヤ荘感謝祭 消防設備点検 運営推進会議	[有]真光園バザー [有]ていれぎ祭り [有]菊見物 [有]紅葉見物 [有・GH]芋ほり	窪田小学校総合学習訪問 久米中学校職場体験

		[GH] 菊見物 [特] 紅葉見物 [特] クリスマス飾りづくり	
12	冬期人事考課 クリスマス会 忘年会 餅つき 防災訓練(シェイクアウトえひめ) 夜間緊急時通報訓練 介護情報サービス公表調査	[特] カラオケ大会	
1	新年会 運営推進会議	[有] 初詣外出(椿神社) [有] 鏡開き [GH] 初詣外出(西林寺) [GH] 新年茶会	
2	ガリラヤ実践事例発表会 高齢クラブ参加(出前講座)	[有] 梅見物 [GH] 節分豆まき	
3	運営推進会議 笑顔大賞投票月間	[有] 菜の花見物 [GH] ひな祭り [特] 菜の花見物	聖カタリナ大学(ガリラヤ荘実習生 1 日 体験)
<b>通年</b>		<b>委員会活動</b>	
各事業所での誕生日会(昼食会) 各事業所でのイベント食(昼食会) おやつ・お茶の時間 レクリエーション(散歩・体操・音楽・風船バレーなど) 訪問理美容(3 か所) 訪問マッサージ(随時) 訪問歯科診療(随時) 医師の回診 嘱託医 2 名 訪問販売(とくし丸、パン)		運営委員会 安全(事故防止)委員会 衛生管理委員会 身体拘束廃止委員会 高齢者虐待防止委員会 給食委員会 権利擁護・苦情相談委員会 入所判定委員会 各事業所スタッフ会議	
<b>他</b>			
<b>ボランティア等</b>			
[個人:定期] 読み聞かせ(柴田様) 絵手紙(篠崎様)	[団体:定期] 喫茶:サロンベリーベリー 喫茶:なかよし村	[個人:随時] 歌謡ショー(橘様) オカリナ(岡田様) バルーン(高田様) フラメンコ(久保様)	[団体:随時] どれみ保育園(訪問) かざぐるま(歌) 第一興商(レクリエーション) トリオ G&B(歌・演奏) しゃぼん玉(ハーモニカ) チームなると(フラダンス) マーラプア(フラダンス) 三津教会(訪問) 久米地区民生委員(訪問)

10.施設内、施設外研修の状況

【施設内研修】

	研修名	参加人数
4	新人職員研修	1～3名
	口腔ケア勉強会	18名
5	身体拘束虐待防止勉強会	19名
	基礎介護勉強会(認知症)	35名
6	基礎介護勉強会(食事)	25名
	職員会(接遇・法令順守)	26名
	衛生管理:食中毒勉強会	35名
	トータルケア勉強会	(リーダー以上)
7	メンタルヘルス勉強会(こころ塾)	21名
8	-	
9	-	
10	リスクマネジメント勉強会	28名
	身体拘束虐待防止勉強会	26名
	職員会(接遇・認知症)	27名
	トータルケア勉強会	(リーダー以上)

	研修名	参加人数
11	衛生管理:感染症防止勉強会	36名
	基礎介護勉強会(認知症)	25名
12	トータルケア勉強会	(リーダー以上)
1	看取り勉強会	22名
2	防犯勉強会	15名
	リスクマネジメント勉強会	22名
3	看取り勉強会	12名
	介護職医行為フォローアップ	1～3名
	職員会(看取り、実践事例発表)	22名
	トータルケア勉強会	(リーダー以上)

【施設外研修】

研修項目	全体		GH		小規模特養/SS		介護付有料	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
介護			5	6	5	7		
看護・保健・医療	1	1			5	5		
防災・防犯								
人材育成・マネジメント	2	2						
専門(スキル向上・資格等)	2	2	2	2	2	2		
行政(介護保険・制度他)	2	2						
財務会計								
人事・労務管理								
他	3	3			2	2	1	1
小計	10	10	7	8	14	16	1	1

研修項目	ダイサービス		居宅介護支援		合計	
	件数	人数	件数	人数	件数計	人数計
介護	2	2			12	15
看護・保健・医療					6	6
防災・防犯					0	0
人材育成・マネジメント					2	2
専門(スキル向上・資格等)	2	2	16	17	24	25

行政(介護保険・制度他)					2	2
財務会計					0	0
人事・労務管理					0	0
他	1	1	4	4	11	11
小計	5	5	20	21	57	61

11.職員の状況

部門等	前年度末	平成30年度当初				平成30年度中の状況			平成30年度末	常勤換算 年度末雇用契約)
		退職 80.3.31 付)	入職 80.4.1付)	異動 80.4.1付)	職員計	入職	異動	退職		
グループホーム	15	0	0	0	15	0	0	0	15	13.9
特養/短期	34	0	3	0	37	7	4	-13	35	30.3
介護職)	20	0	2	0	22	4	2	-8	20	18.4
看護職)	2	0	1	0	3	0	1	-1	3	2.9
その他)	12	0	0	0	12	3	1	-4	12	9
介護付有料	14	0	0	0	14	4	2	-4	16	10.2
介護職)	10	0	0	0	10	4	2	-4	12	7.3
看護職)	2	0	0	0	2	0	0	0	2	1.9
その他)	2	0	0	0	2	0	0	0	2	1
デイサービス	5	0	0	0	5	2	0	0	7	5.3
居宅	2	0	0	0	2	0	0	0	2	2
計	70	0	3	0	73	13	6	-17	75	61.7

※)育児休業者(2名)は常勤換算には含めず

医師等嘱託契約者の数は上記に含めず

【医師2名、歯科衛生士1名、作業療法士2名(デイ/特養/介護付有料)】

12.サービス別 利用状況一覧

小規模特別養護老人ホーム		定員29名・3ユニット(ユニット定員10名(1ユニットのみ9名))												
項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計又は平均	
稼働日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	
総計	平均介護度	3.80	3.80	3.80	3.80	3.80	3.80	3.90	3.90	4.00	4.10	4.10	4.20	3.92
	延べ利用人数	848	837	808	818	890	859	886	815	878	881	785	850	10,155
	平均利用人数/1日	28.27	27.00	26.93	26.39	28.71	28.63	28.58	27.17	28.32	28.42	28.04	27.42	27.9
	稼働率	97.5%	93.1%	92.9%	91.0%	99.0%	98.7%	98.6%	93.7%	97.7%	98.0%	96.7%	94.5%	96.1%



ショートステイ		定員10名・1ユニット（ユニット定員10名）												
項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計又は平均	
稼働日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	
要介護	利用実人数	16	17	18	18	16	15	16	14	14	17	16	21	16.5
	利用延べ人数計	217	223	237	223	203	216	219	235	244	204	214	235	2,670
	平均介護度	3.20	3.20	3.40	3.50	3.20	3.00	3.00	2.90	2.90	2.40	2.90	2.20	2.98
	平均利用人数/1日	7.23	7.19	7.90	7.19	6.55	7.20	7.06	7.83	7.87	6.58	7.64	7.58	7.30
要支援	利用実人数	1	2	1	4	2	3	1	1	2	1	1	2	1.75
	利用延べ人数	1	4	2	19	4	11	2	19	36	17	18	21	154
	平均介護度	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.40
	平均利用人数/1日	0.03	0.13	0.07	0.61	0.13	0.37	0.06	0.63	1.16	0.55	0.64	0.68	0.40
総計	平均介護度	3.20	3.10	3.40	3.20	3.20	2.90	3.00	2.70	2.60	2.30	2.80	2.10	2.88
	延べ利用人数	218	227	239	242	207	227	221	254	280	221	232	256	2,824
	平均利用人数/1日	7.27	7.32	7.97	7.81	6.68	7.57	7.13	8.47	9.03	7.13	8.29	8.26	7.7
	稼働率	72.7%	73.2%	79.7%	78.1%	66.8%	75.7%	71.3%	84.7%	90.3%	71.3%	82.9%	82.6%	77.0%

グループホーム		定員18名・2ユニット（ユニット定員9名）												
項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計又は平均	
稼働日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	
総計	平均介護度	2.10	2.10	2.20	2.20	2.20	2.20	2.20	2.20	2.40	2.50	2.30	2.40	2.25
	延べ利用人数	499	541	540	558	557	517	554	526	557	549	478	521	6,397
	平均利用人数/1日	16.63	17.45	18.00	18.00	17.97	17.23	17.87	17.53	17.97	17.71	17.07	16.81	17.6
	稼働率	92.4%	97.0%	100.0%	100.0%	99.8%	95.7%	99.3%	97.4%	99.8%	98.4%	94.8%	93.4%	97.7%

介護付有料老人ホーム		定員35名・30室（うち2人部屋5室）												
項目/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計又は平均	
稼働日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	
総計	平均介護度	1.10	1.10	1.20	1.20	1.30	1.30	1.30	1.30	1.30	1.40	1.40	1.50	1.28
	延べ利用人数	879	892	883.2	909.2	947.3	927.3	989.3	921.3	906	929	844	920	10,948
	平均利用人数/1日	29.30	28.77	29.44	29.33	30.56	30.91	31.91	30.71	29.23	29.97	30.14	29.68	30.02
	稼働率	83.7%	82.2%	84.1%	83.8%	87.3%	88.3%	91.2%	87.7%	83.5%	85.6%	86.1%	84.8%	85.8%

デイサービス		利用定員15名												
項目/月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計又は平均
稼働日数		25	27	26	26	27	25	27	26	26	25	24	26	310
要介護	利用実人数	25	25	27	27	25	26	26	25	26	29	27	25	26
	利用延べ人数	203	215	255	242	205	207	255	229	241	230	217	240	2,739
	平均介護度	2.20	2.10	2.10	2.10	2.20	2.30	2.20	2.00	2.00	2.00	1.90	1.90	2.08
	平均利用人数/1日	8.12	7.96	9.81	9.31	7.59	8.28	9.44	8.81	9.27	9.20	9.04	9.23	8.80
要支援	利用実人数	17	16	17	16	15	14	14	12	11	10	12	12	13.8
	利用延べ人数	73	80	71	78	81	69	76	58	51	51	56	53	797
	平均介護度	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40	0.40
	平均利用人数/1日	2.92	2.96	2.73	3.00	3.00	2.76	2.81	2.23	1.96	2.04	2.33	2.04	2.61
総計	平均介護度	1.70	1.60	1.70	1.70	1.70	1.80	1.80	1.70	1.70	1.70	1.60	1.60	1.69
	利用延べ人数	276	295	326	320	286	276	331	287	292	281	273	293	3,536
	平均利用人数/1日	11.04	10.93	12.54	12.31	10.59	11.04	12.26	11.04	11.23	11.24	11.38	11.27	11.42
	稼働率	73.6%	72.8%	83.6%	82.1%	70.6%	73.6%	81.7%	73.6%	74.9%	74.9%	75.8%	75.1%	76.1%

居宅介護支援事業所														
項目/月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計又は平均
介護支援専門員数		2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2.0
要介護	介護 利用人数	17	21	21	22	24	25	24	28	26	25	25	18	23.5
	介護 稼働率	24.3%	30.0%	30.0%	31.4%	34.3%	35.7%	34.3%	40.0%	37.1%	35.7%	35.7%	25.7%	33.5%
要支援	予防 利用人数	13	13	15	15	14	18	22	23	21	21	20	13	17.3
	予防 稼働率	81.3%	81.3%	93.8%	93.8%	87.5%	112.5%	137.5%	143.8%	131.3%	131.3%	125.0%	81.3%	110.80%
総計	介護+予防 利用人数	30	34	36	37	38	43	46	51	47	46	45	31	41.2
	介護+予防 稼働率	34.9%	39.5%	41.9%	43.0%	44.2%	50.0%	53.5%	59.3%	54.7%	53.5%	52.3%	36.0%	47.89%
新規利用人数		0	5	7	0	4	6	3	8	2	6	4	0	3.8
営業訪問先		6	7	17	6	6	7	6	6	7	8	6	6	7.3